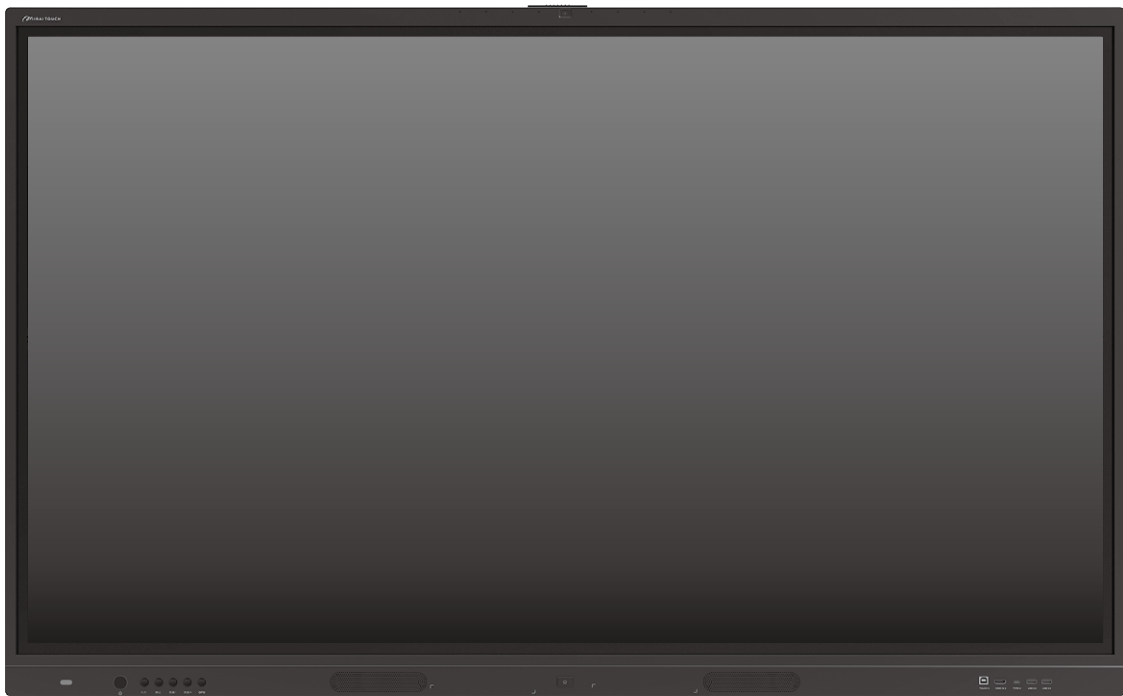


インタラクティブディスプレイ

M65PE4S/M75PE4S/M86PE4S

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」および本書記載の「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解ください。

また、お読みになった後は保証書とあわせて大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	4
ご使用上の注意	6
付属品を確認する	8
各部の名称と働き	9
正面	9
側面	10
背面	11
設置について	13
設置条件	13
スタンドについて	13
リモコンの準備と操作	14
電池を入れる	14
リモコンで操作できる範囲	14
リモコン操作	15
機器を接続する	16
PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）	16
HDMI接続する場合	16
接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）	17
HDMI接続する場合	17
DisplayPort接続する場合	17
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）	18
本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合	18
本機の画面をサブモニターなどで表示する（映像出力）	18
本機内蔵Android画面、HDMI入力画面を出力する場合	18
本機をPCから制御する（シリアル制御/サービス用端子）	19
ネットワーク接続する	19
LANケーブルの接続	19
電源を接続する	20
電源の入／切	20
スタンバイモード	20
タッチ操作	21
基本的な操作方法	22
ホーム画面	22
クイックソース切り替え	23
表示方法	23
サイドメニューを表示する	24
コントロールパネルを表示する	25
アプリ一覧画面を開く	26
ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）	27
描く、消す	29

選択モード	29
消しゴムモード	29
ツールボックス	30
2人/3人/4人同時書き込みモード	31
ファイルを参照する (ファイル)	32
ウェブページを見る (Chrome)	33
カメラを使う (カメラ)	34
比較モード画面	35
画面を切り換える	36
詳細設定	37
起動方法	37
ネットワーク設定	38
イーサネット.....	38
無線LAN.....	38
ホットスポット.....	39
Bluetooth.....	39
本体設定	40
映像設定.....	40
音設定.....	41
システム	42
セキュリティ.....	42
アプリ管理.....	43
電源設定.....	44
その他設定	45
その他.....	45
端末管理.....	46
故障かなと思ったら	47
正常に動作しない.....	47
映像入力した機器の画面がうまく表示されない.....	47
音が出ない.....	47
タッチ操作がうまくできない.....	48
お手入れ方法	49
長期間使用しない場合.....	49
仕様	50
アフターサービス	52
製品の保証について	52
修理を依頼されるとき	52



この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B




安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


表示の意味

 警告	人が死亡または重傷に結びつくことが想定される内容です。
 注意	人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。


記号は次の意味を表しています。


-  してはいけないこと  必ずすること
-  気をつけること


警告


 **使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる**
プラグを抜く


- ・ 煙が出ていたり、においがするとき
 - ・ 内部に水や異物が入ってしまったとき
 - ・ 本機を落としたり、本機が破損したとき
- すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。


 **正しい電源電圧で使用する**
指示 指定以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。


 **分解や改造をしたり、カバーを外さない**
改造禁止 火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
ぬれ手禁止 感電の原因になります。


 **内部に異物を入れない**
禁止 金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。


 **電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない**
禁止 加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。


 **本機を定期的に清掃する**
指示 お手入れには乾いた柔らかい布のみ使用してください。


 **電源プラグや端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除する**
指示 電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下となり、火災の原因になります。


端子部分は汚れていると接触不良になり、動作不良になる場合があります。
また、掃除する際は、破損しないよう十分にご注意ください。


 **雷が鳴り出したら、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**
指示 火災や感電の原因になります。

 **本機に水、湯気をかけない**
禁止 本機は防水 / 防塵性を有しておりません。コーヒータンブラー、電気ポット等の近くや調理場で使用しないでください。水滴、湯気が内部に入り、内部部品が腐食し、感電や故障の原因になります。


 **風呂場など水のかかる場所や雨に当たる場所には置かない**
禁止 火災や感電の原因になります。


 **アースを必ず接続する**
指示 アースを接続しないで使用すると、火災や感電の原因になります。


 **スタンドは当社指定のものを使用する**
指示 当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

 **壁掛けで使用する際は、十分な強度の金具を使用し、壁の補強をする。また、壁掛けの際には専門業者に依頼する。**
指示


注意

 **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引き抜く**
指示 コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。

 **長期間使用しないときは、電源プラグを抜く**
プラグを抜く

 **電源プラグや電源コードに異常があるときは、使用をやめる**
指示 以下のような場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・ 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- ・ コンセントに差し込んだときに電源プラグがゆるく、ぐらつく

 **熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない**
禁止 故障、発熱、タッチ誤操作の原因になります。



本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。



本製品を屋外で使用しない

禁止

本製品は屋内専用です。屋外で使用すると、故障の原因になります。



本機に強い衝撃を与えない

禁止

倒れたり、液晶ディスプレイが割れてけがの原因になります。



横倒し、うつ伏せ、逆さまの状態で使用しない

禁止

発火や故障の原因になります。



本機の上に物を置いたり、乗ったりしない

禁止

けがの原因になります。



移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く

指示

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



電池の取り扱いに注意する

指示

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがの原因になります。以下の点に注意してください。

- ・ 指定以外の電池を使用しない
 - ・ 電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えない
 - ・ 電池のプラス (+) とマイナス (-) をショートさせない
 - ・ 異なる種類どうしや新しい電池と使いかけの電池を混ぜて使用しない
 - ・ 分解しない
 - ・ 火や水の中に入れてたり、加熱しない
 - ・ 長期間使わないときは、電池を取り出す
- 電池が液もれしたときは以下の指示に従ってください。

- ・ 素手で液をさわらない。
- ・ 液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。
- ・ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受ける。



ディスプレイが破損した場合は、液晶を皮膚に近づけない

禁止

失明や皮膚に障害を起こす原因になります。液晶が漏れて目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けて下さい。



付属の電源コード以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。



電源プラグは容易にコンセントから抜くことができる状態で使用する

指示

異常が起きたときに、すぐ電源プラグをコンセントから抜けるようにしてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

指示

差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。



たこ足配線はしない

禁止

火災の原因になります。



通風口をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。



通風口は定期的に掃除する

指示

通風口がほこりなどでふさがると、発熱や発火・故障の原因になります。



画面を強く押ししたり、叩いたり、先のとがったもので押さない

禁止

液晶ディスプレイが破損し、けがの原因になります。



本機を移動するときは、接続しているコードを外す

指示

コードが破損したり、引っかかって倒れてけがの原因になります。



お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

指示

火災、やけど、感電の原因になります。



アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなう

指示

また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外す



本機は精密機器です

指示

設置の際は振動が発生するインパクトドライバーは利用しないでください。



同梱された電源コードセットは他の製品に使用しない

禁止



電源端子の抜け防止対策は必要に応じておこなう

指示

ご使用上の注意

周囲環境

- ・ 本機を使用するときは、周囲温度を0℃～40℃、湿度を10%～90%の範囲内にしてください。この範囲外の温度や湿度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因になることがあります。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- ・ 風通しがよく、熱がこもらない場所でご使用ください。

電源を切るとき

- ・ 本機は精密機器ですので、動作中に電源プラグをコンセントから抜いたりすると、故障の原因になります。必ず本体の電源をオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れするとき

- ・ お手入れするときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 画面を強くこすったり、固い布で拭くと傷つくおそれがあります。
- ・ シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- ・ 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- ・ 低温の場所から高温の場所に本機を移動したり、暖房を入れて室温が急激に上昇したときは、本機内部に結露が発生することがあります。このような場合は、十分に時間をおき、結露がなくなってから電源プラグにコンセントを差し込んでください。

電源ボタンについて

- ・ 電源オン時に本機の前面にある電源ボタンを短く押し、スタンバイモードになります。ディスプレイの表示はオフになりますが、機器は動作しています。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを押してシャットダウンするか、主電源スイッチをオフ(○)にしてください。

残像について

- ・ 長時間同じ画面を表示させておくと、残像が生じることがありますが、故障ではありません。残像は時間の経過とともになくなりますが、長時間同じ画面を表示させるような使い方はなるべく避けてください。

免責事項

- ・ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（本機にお客様が登録された情報やデータの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機にお客様が登録された情報やデータが、本機の故障や修理、その他の取り扱いなどにより万一消失した場合も、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は日本国内のネットワーク専用です。日本国外ではご使用になれません。
- ・ アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・ ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・ 長時間コンセントを抜いた状態にした場合、時計表示がずれる場合がございます。時計にずれが生じた場合には日付けと時刻の設定手順に従い再設定をお願いします。
- ・ 弊社開発のアプリケーション以外のサードパーティ製のアプリケーションは開発会社のバージョンアップにより、仕様変更ならびに使用ができなくなる場合がございます。
- ・ 弊社指定品以外の移動式スタンドや金具の使用による転倒・破損などによる故障や損害等は当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

知的財産（著作権・肖像権）について

- ・ お客様が本機を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

Bluetooth / 無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 本端末は全てのBluetooth対応機器、無線LAN (WLAN) 対応機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本端末はBluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- 無線LAN (WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth、無線LAN (WLAN) 機能を使用した通信時のデータや情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所で使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（電子レンジ使用時には特に影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (WLAN) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

本製品が使用する無線LAN (WLAN) のチャンネル

- 本製品は、2.4GHzの周波数帯において、1～13chの各チャンネルを利用できます。
- また、5GHzの周波数帯において、W52 (36、40、44、48ch)、W53 (52、56、60、64ch) およびW56 (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch) の各チャンネルを利用できます。

IEEE802.11b/g/n		
IEEE802.11a/n/ac/ax		
W52	W53	W56

2.4GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末のBluetooth機能および無線LAN (WLAN) 機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する）、および特定小電力無線局（免許を要しない）、アマチュア無線局（免許を要しない）などの無線局（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、ご使用を中断して、電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

- Bluetooth機能が使用する周波数帯

2.4 FH/XX 1

- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- FH/XX : 変調方式がFH-SSおよびその他の方式(DS-SS方式/DS-FH方式/FH-OFDM複合方式/OFDM方式以外)であることを示します。
- 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- 無線LAN (WLAN) 機能が使用する周波数帯

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDM方式であることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末の無線LAN (WLAN) 機能は、5GHz帯を使用します。
- 電波法の定めにより5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53) の屋外利用は禁止されています。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電波通事業法に抵触します。
- 本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が製品本体に表示されています。
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

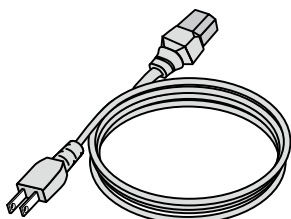
付属品を確認する

本製品には以下のものが付属します。
万一不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

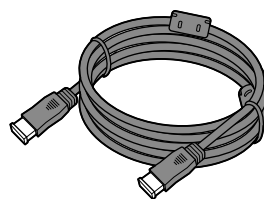
リモコン×1
単4乾電池×2



電源コード×1

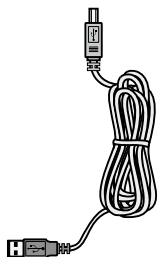


HDMIケーブル×1

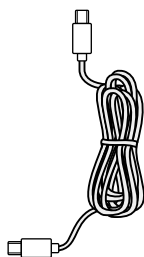


保証書×1

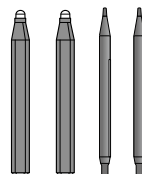
USBケーブル×1
(USB BタイプーUSB Aタイプ)



USBケーブル×1
(USB CタイプーUSB Cタイプ)

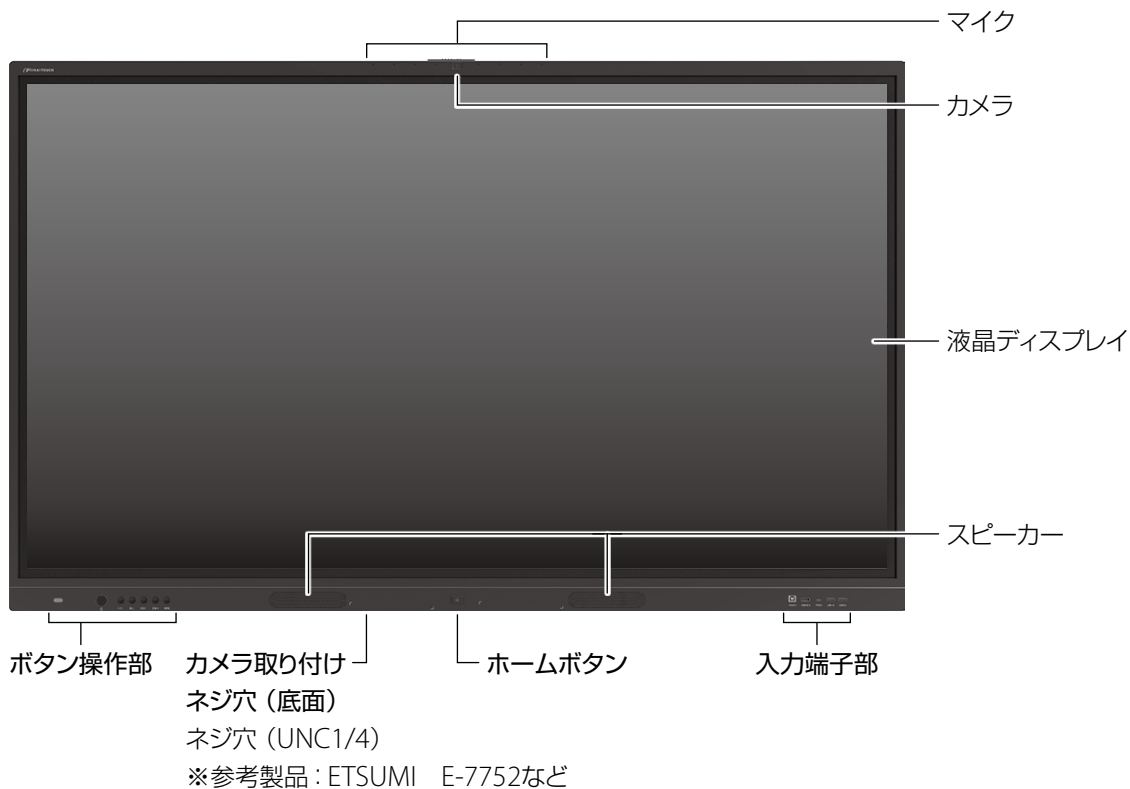


タッチペン×4
※ 2種類



各部の名称と働き

正面



ボタン操作部

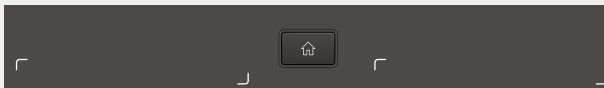
リモコン受光部

リモコンの信号受光部です。



電源	電源オン時: カウントダウンが開始され、0になるとシャットダウンします。 電源オフ時: 電源をオンにします。(主電源スイッチがオンになっているとき)		
入力	入力ソースを切り替えます。	静止	画面を静止します。
音量-/+	音量を調整します。	OPS	内蔵PCの画面に切り替えます。

ホームボタン



1回押す	ホーム画面を表示します。 ※ 指定動作はシステム設定>その他>個別設定>ホームボタン1回選択で指定することができます。
2回押す	指定したアプリケーションを起動できます。 ※ 指定アプリケーションはシステム設定>その他>個別設定>ホームボタン2回選択で指定することができます。
長押し	画面をスクリーンキャプチャします。 保存画像は、本機の「/Pictures/ScreenShots」フォルダに保存されます。

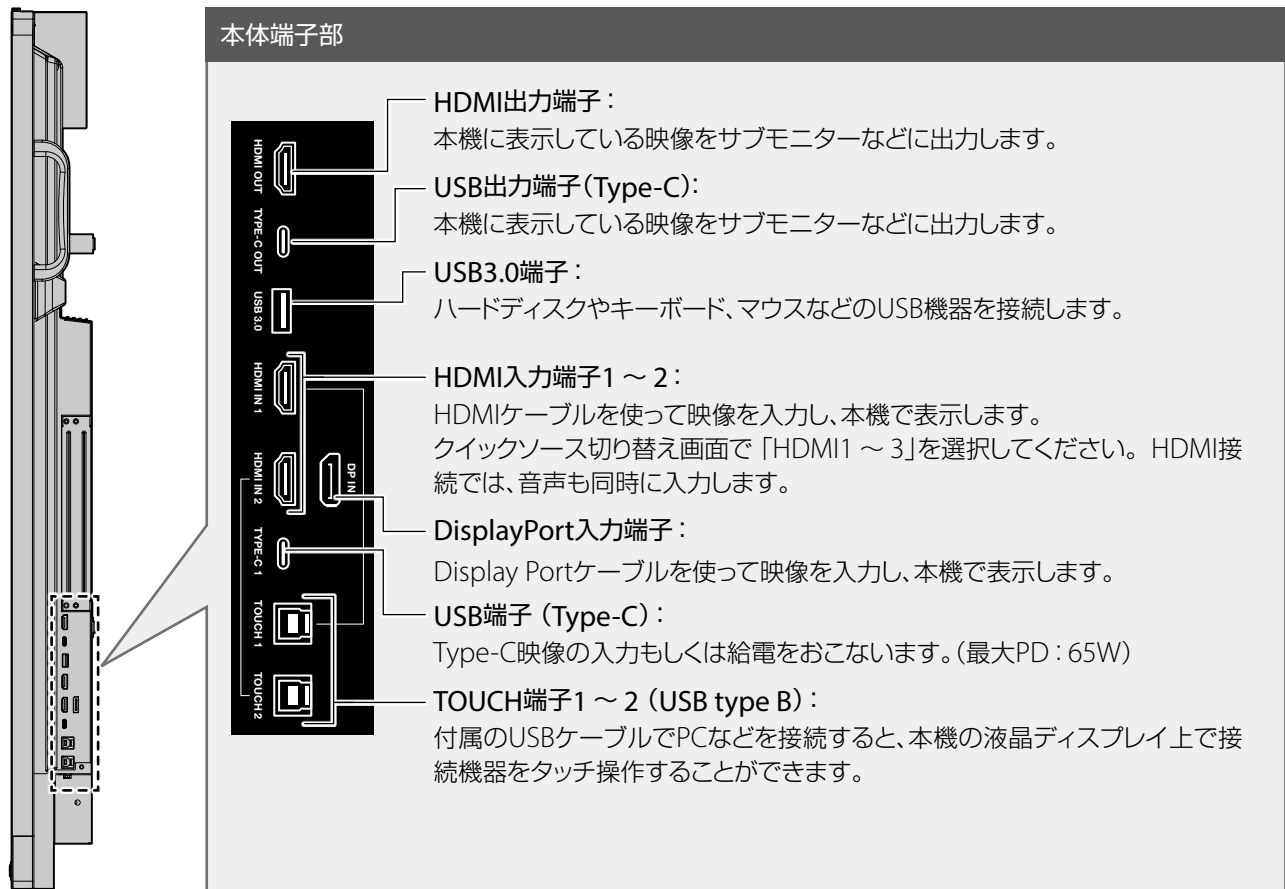
入力端子部



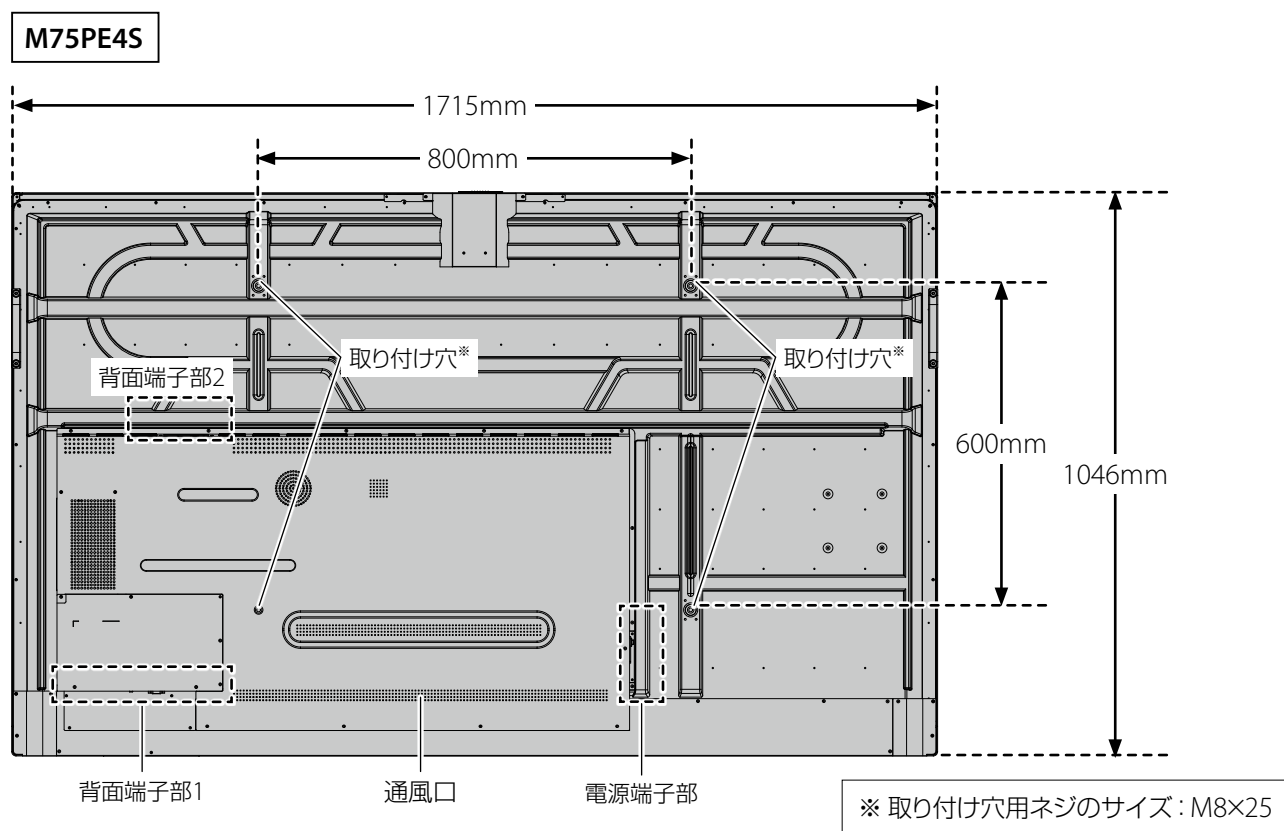
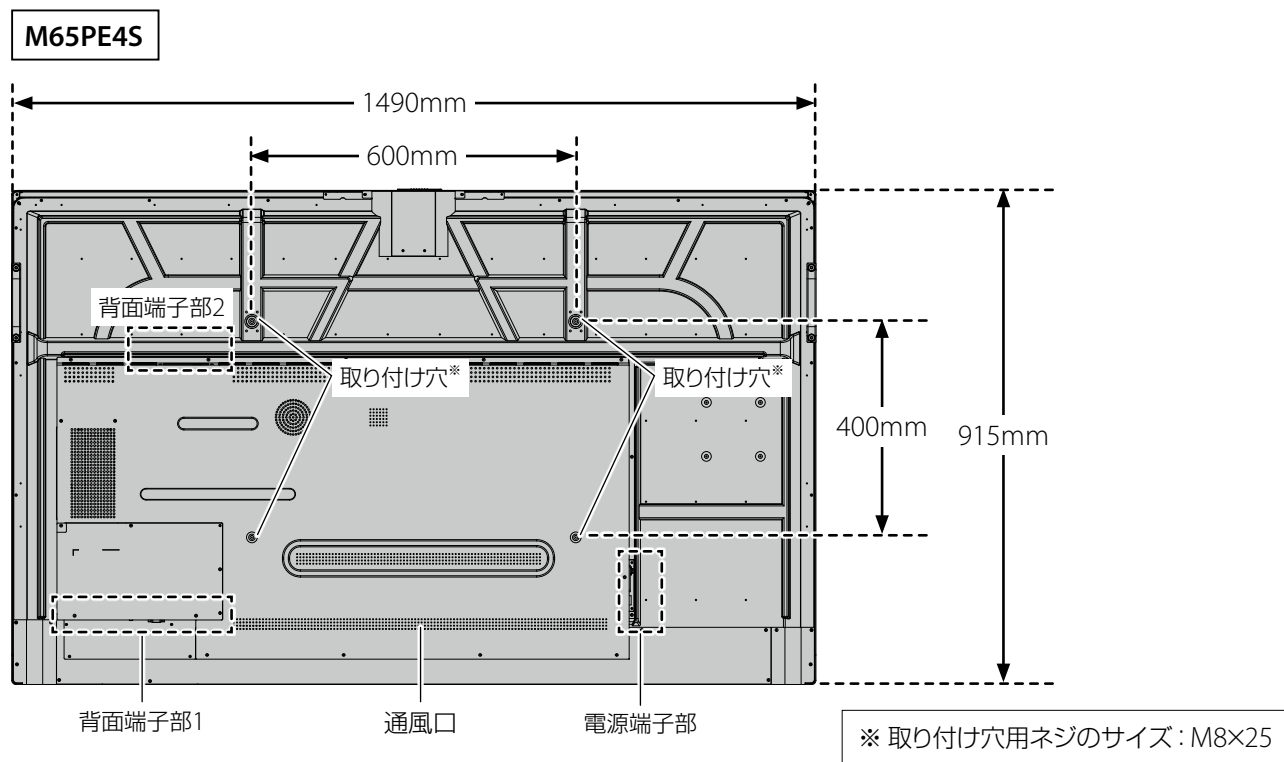
TOUCH端子3 (USB type B)	付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。
HDMI入力端子3	HDMI対応機器を接続して、本機で画面を表示します。
USB端子: Type-C	Type-C映像の入力もしくは給電をおこないます。(最大PD: 65W)
USB端子	接続すると、自動的にファイル形式を認識して、PCまたはAndroidどちらか最適な方へ接続されます。

各部の名称と働き (続き)

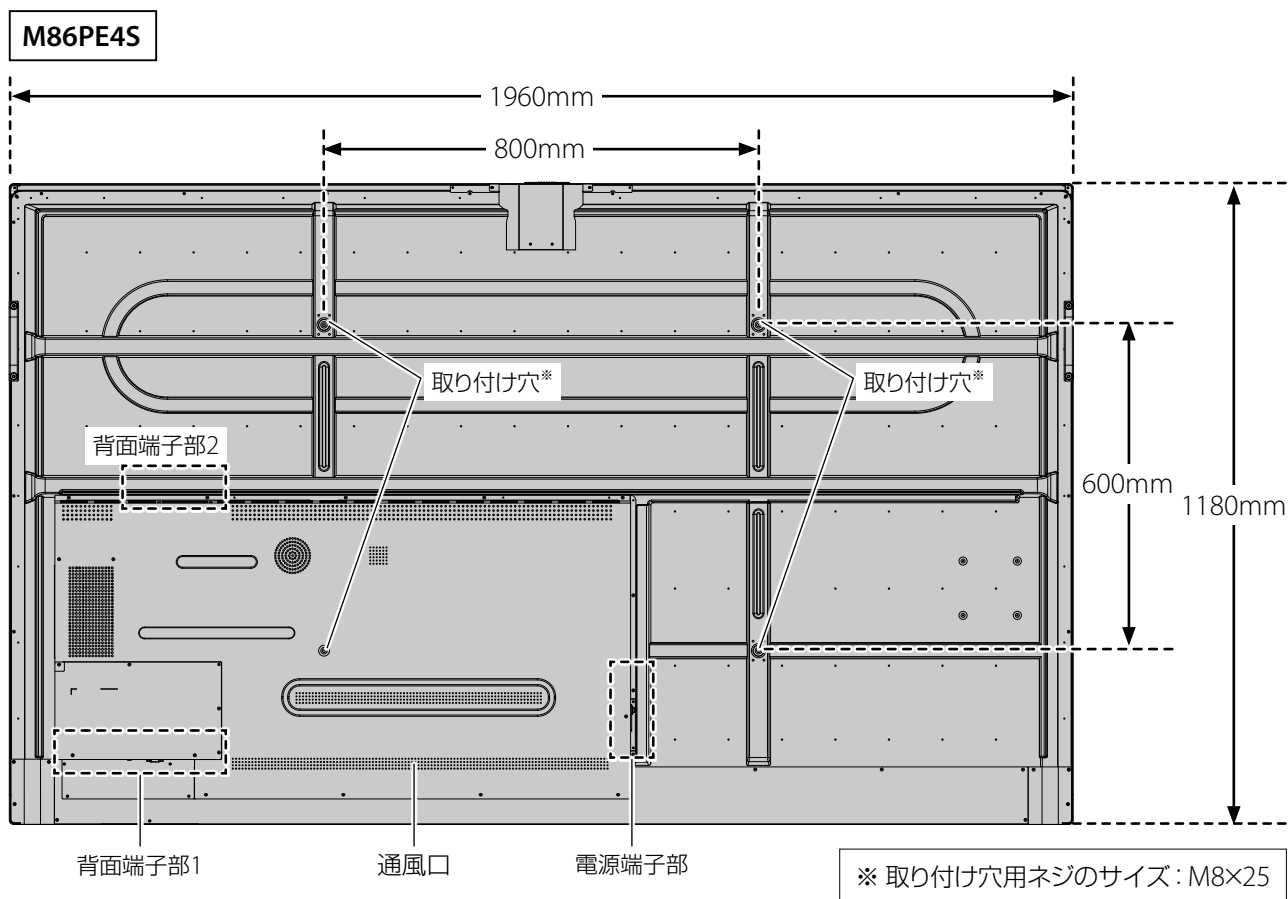
側面



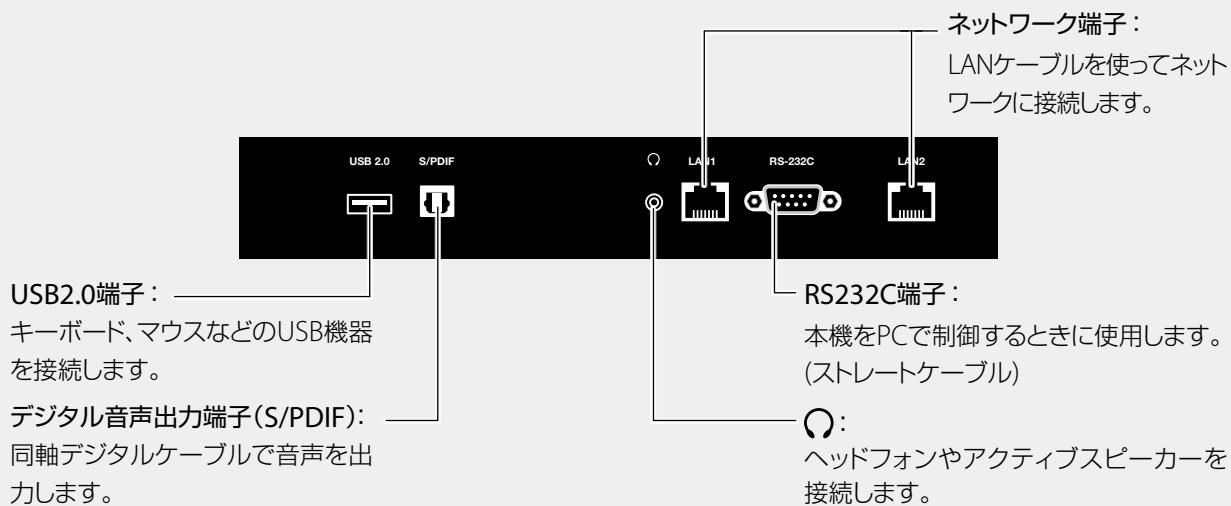
背面



各部の名称と働き (続き)



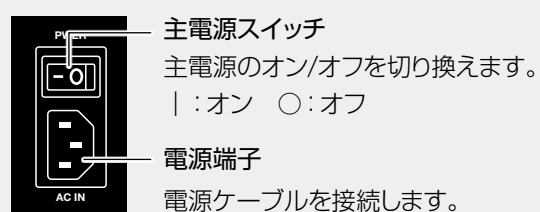
背面端子部1



背面端子部2



電源端子部



設置について



注意

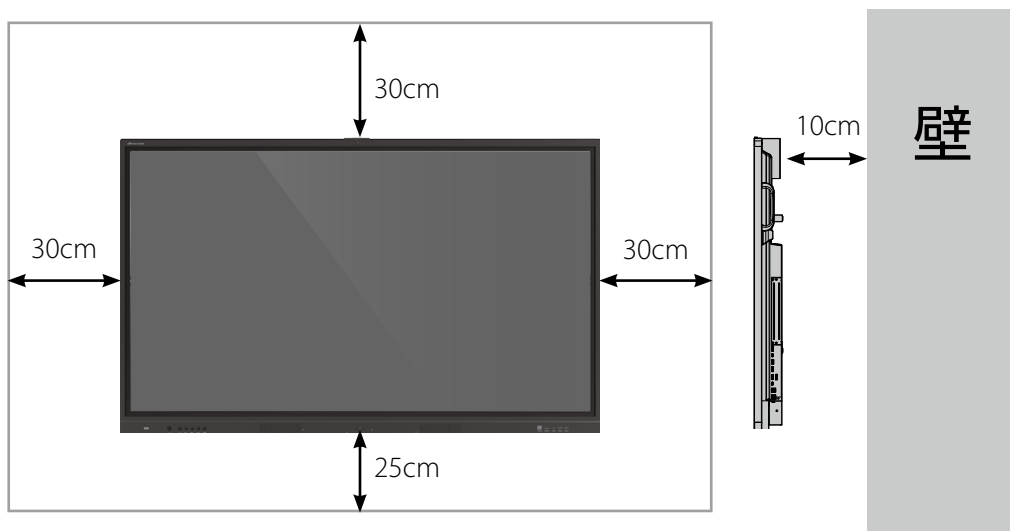
- 本機の設置や取りはずし、移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設置・取りはずし・移動は、必ず4名以上でおこなってください。
本体が落下してけがの原因になります。
- 本機を壁掛けしたり、天吊りにして使用する場合は、取り付け工事専門業者に依頼してください。取り付け、据え付けの不備による事故・損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 設置するときは、通風口をふさがないようにご注意ください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

設置条件

- 本製品は以下の環境でご使用ください。

周囲温度	0℃～40℃
周囲湿度	10～90%

- 雨や水しぶきが当たるおそれがあるところや湿度が高いところには設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲から以下の距離を離し、風通しの良い場所に設置してください。



スタンドについて

スタンドは当社指定のものをお使いください。

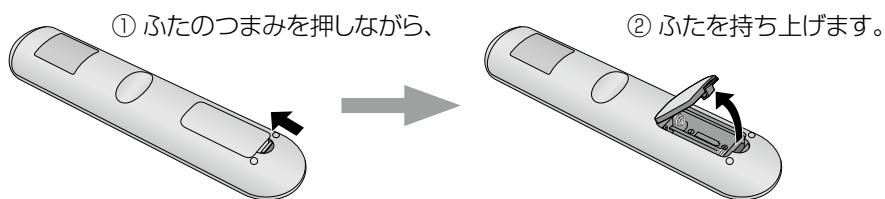
当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

- 取り付け方法については、スタンド付属の説明書をご参照ください。
- 当社指定以外のスタンドを使って設置した場合に起こった製品の損傷や損害については、保証期間中であっても責任を負いかねますので、ご注意ください。

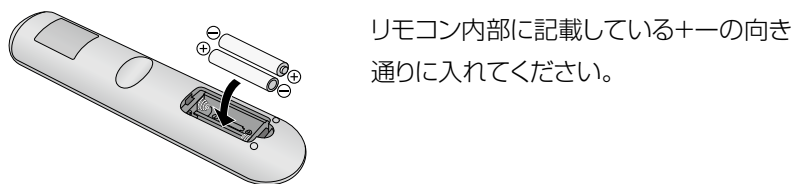
リモコンの準備と操作

電池を入れる

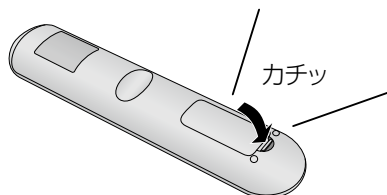
1. リモコン裏面のカバーを開けます。



2. 付属の単4乾電池2本を入れます。



3. カバーを取り付け、カチッと音がするまで閉めます。

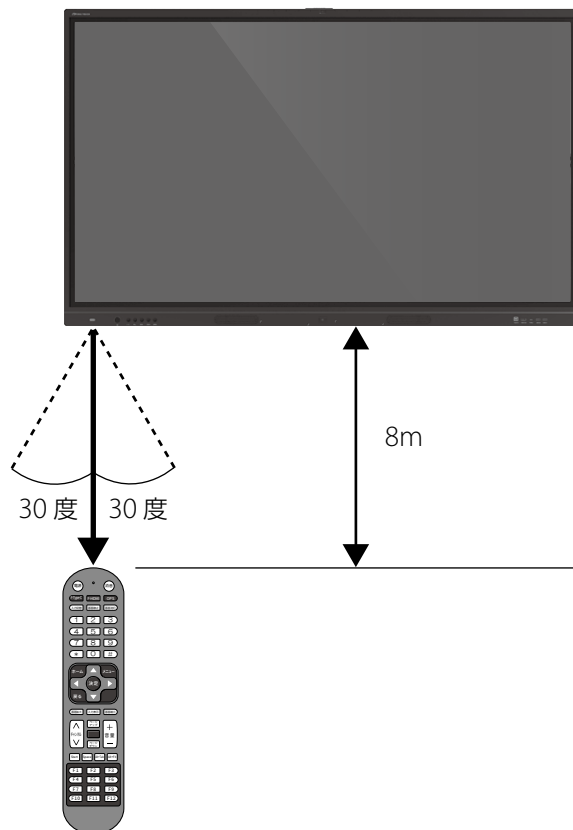


NOTE

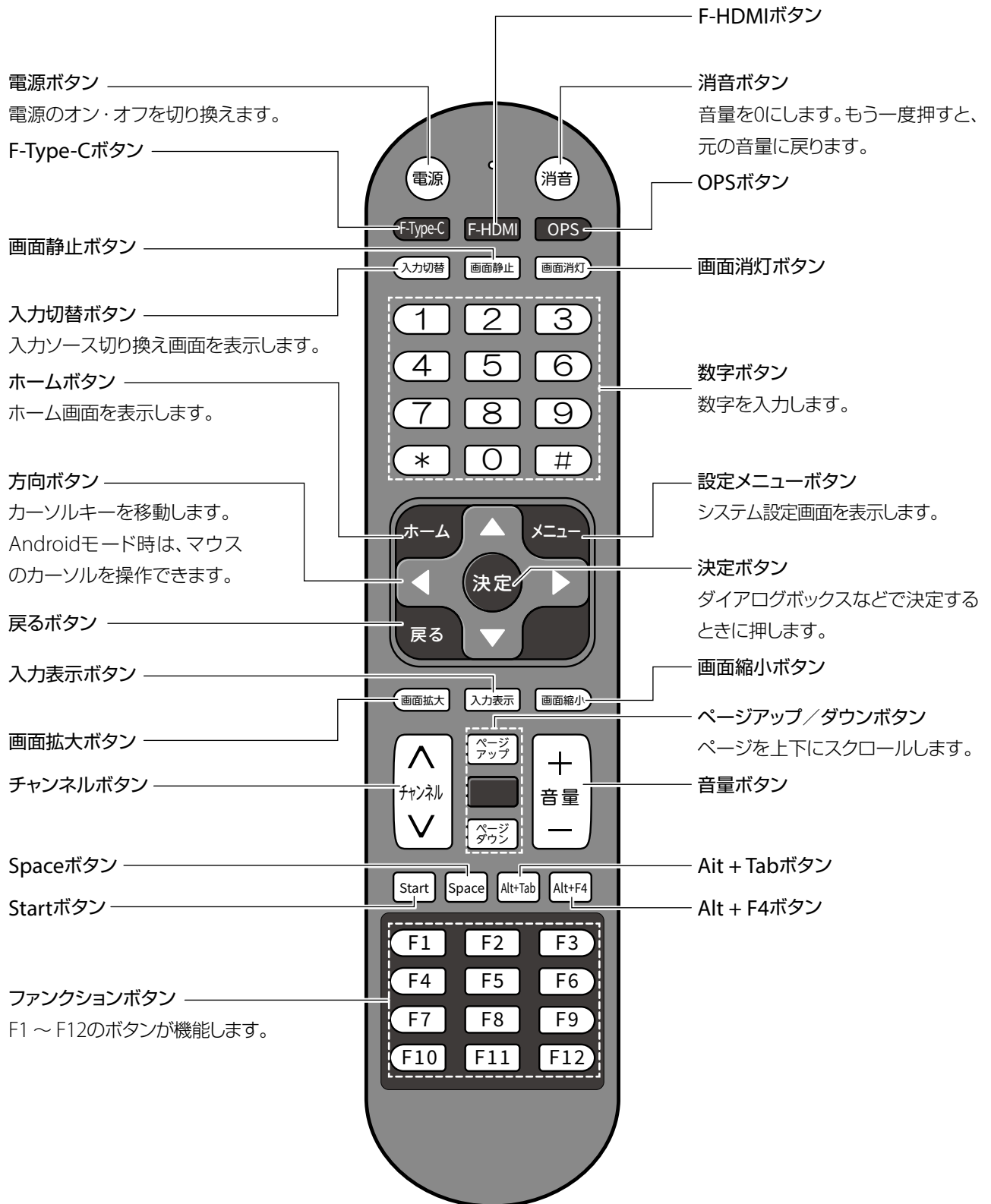
- 付属の乾電池は保管状態により、短時間で消耗することがあります。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から8メートル以内で、上下左右30度の角度から操作可能です。



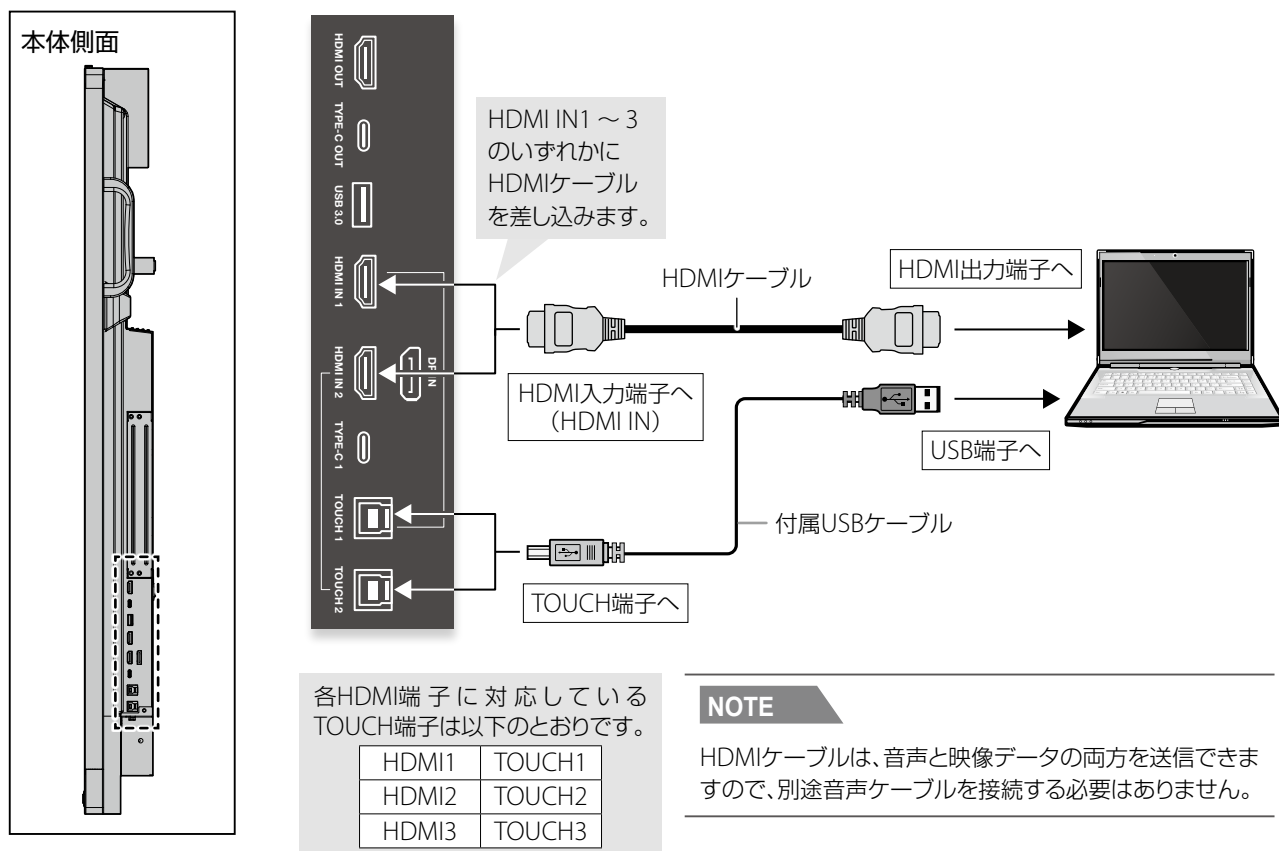
リモコン操作



機器を接続する

PCの画面を本機で表示する (映像・音声入力)

HDMI接続する場合



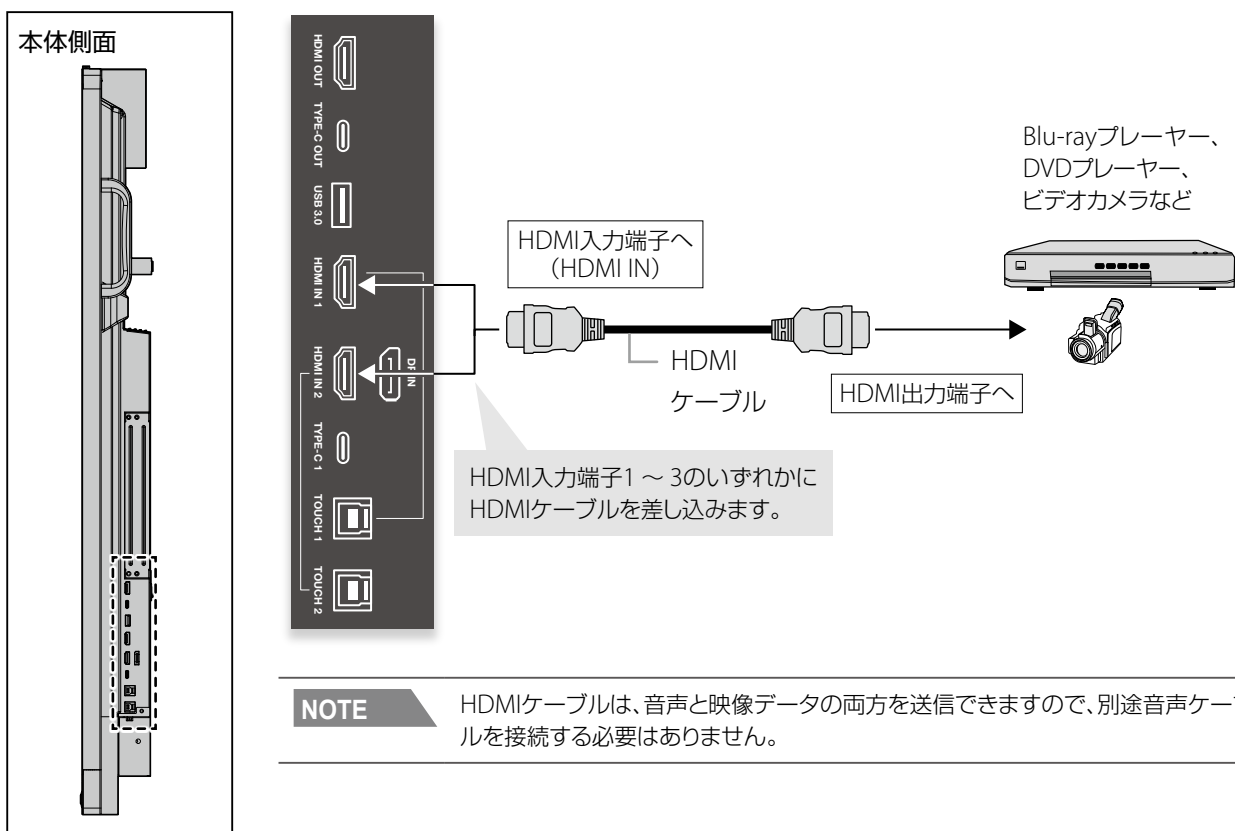
NOTE

- 本機に接続するPCの推奨スペックは以下のとおりです。
 - ・メモリ：1GB以上
 - ・CPU：2.0 GHz以上
 - ・ハードディスクの空き容量：1GB以上
 - ・256色以上のディスプレイカードを搭載

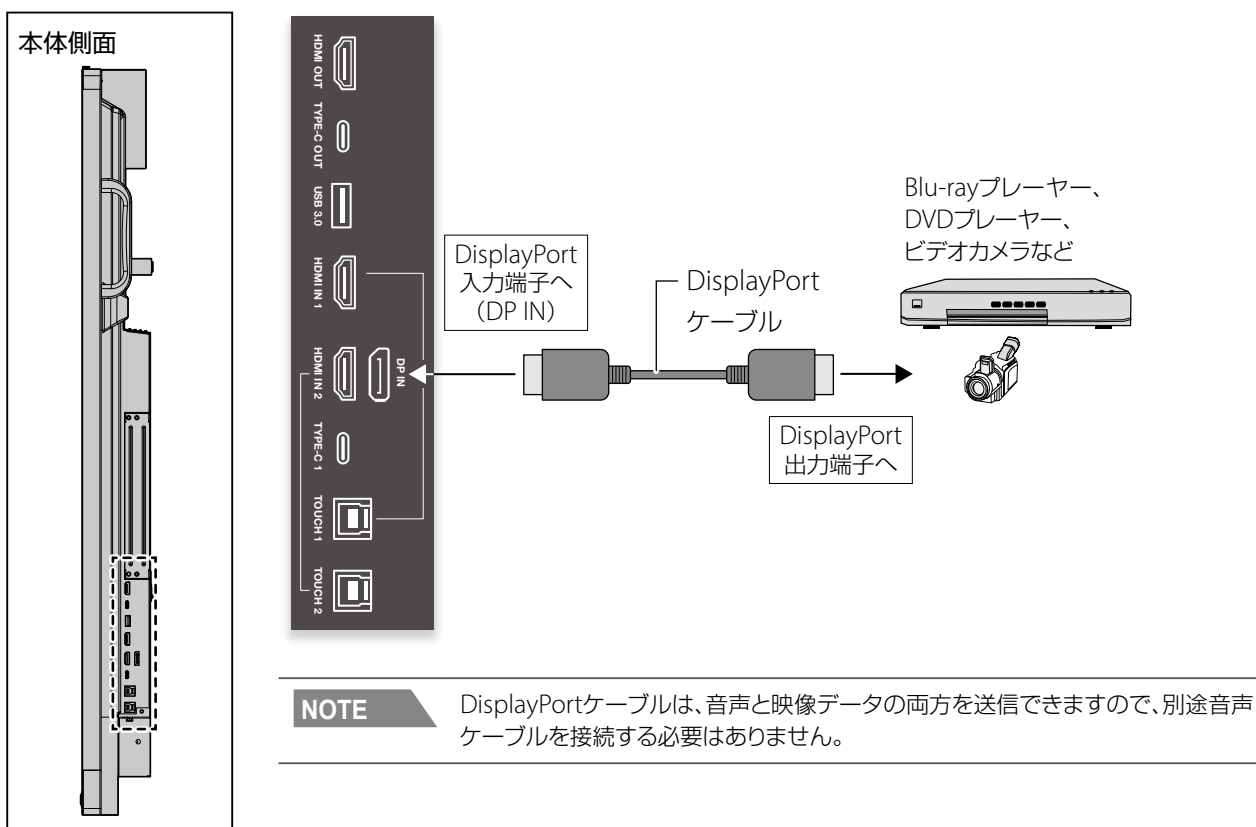
タッチ操作のドライバインストールについて
本機の電源がオンになっているときに、USB
ケーブルをPCに接続すると、自動的にドライ
バのインストールがおこなわれます。

接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）

HDMI接続する場合



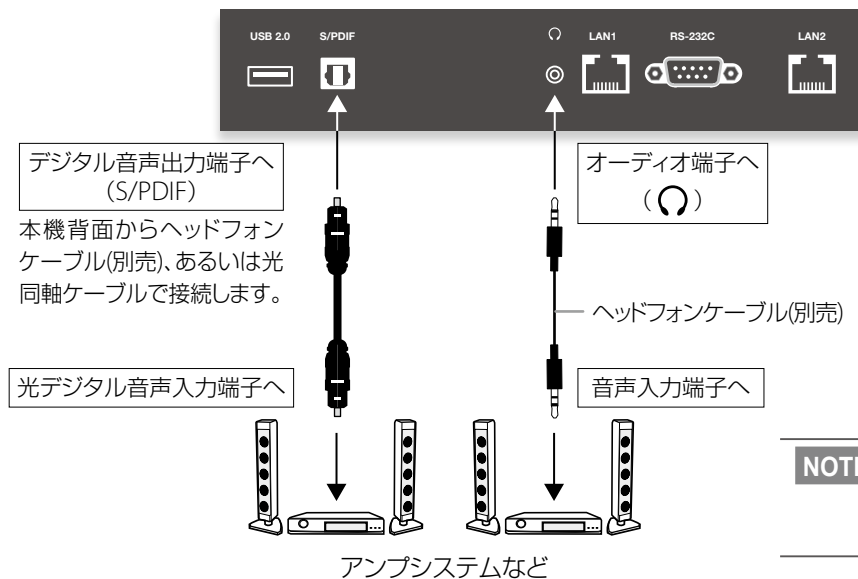
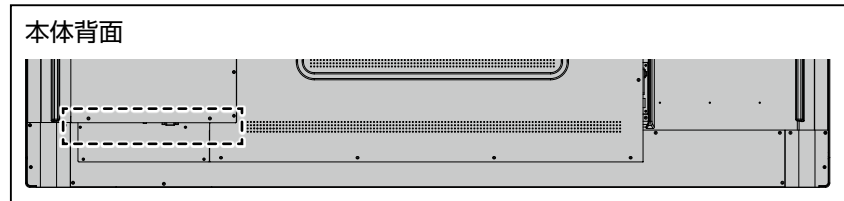
DisplayPort接続する場合



機器を接続する (続き)

本機の音声を他の機器で再生する (音声出力)

本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合

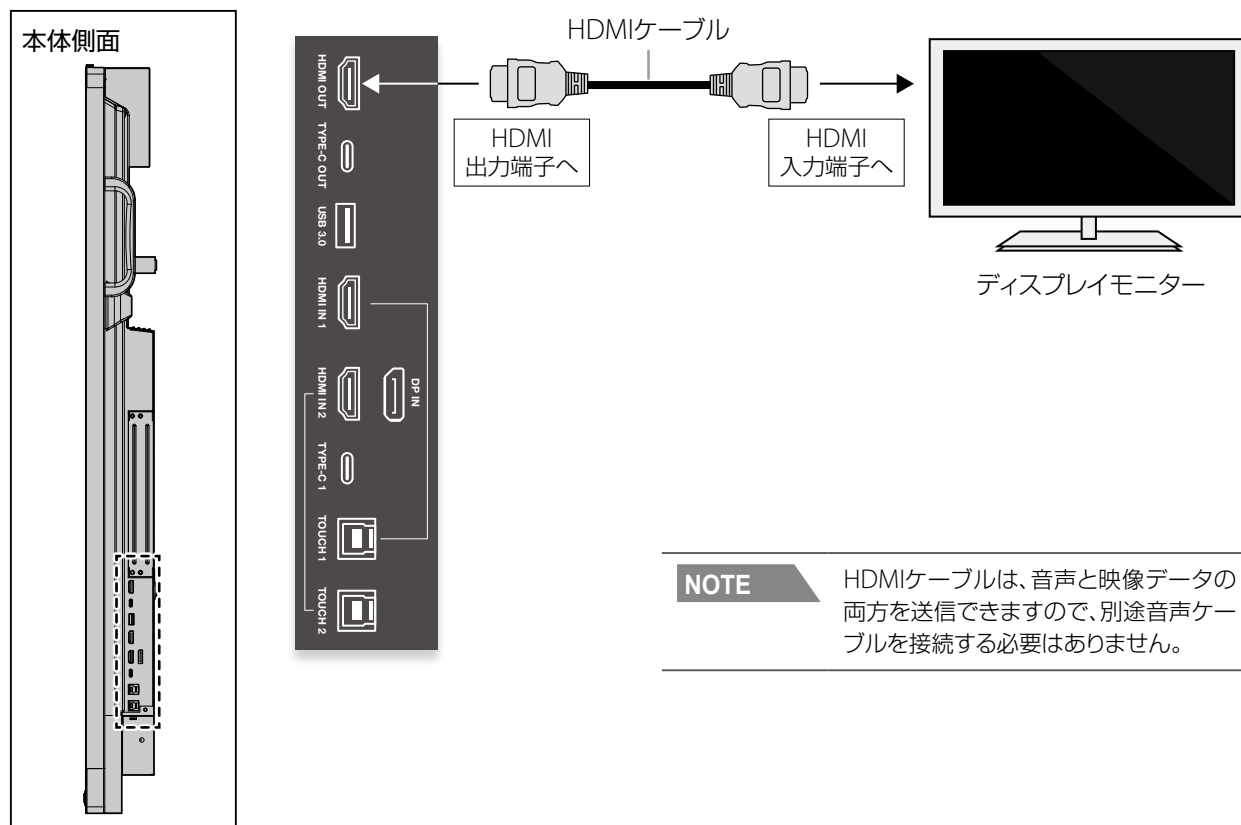


NOTE

音声出力を変更するには、「システム設定>音設定>出力設定」で変更が必要です。(P.41)

本機の画面をサブモニターなどで表示する (映像出力)

本機内蔵Android画面、HDMI入力画面を出力する場合

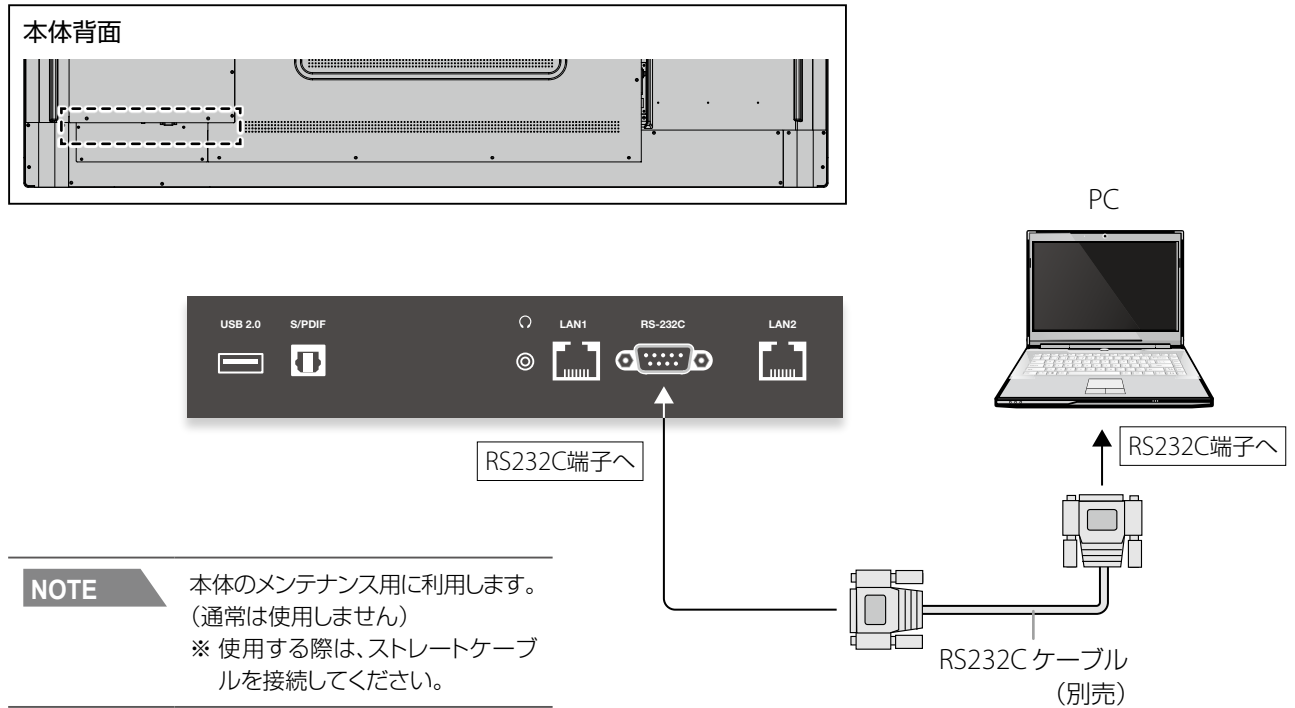


NOTE

HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

本機をPCから制御する（シリアル制御/サービス用端子）

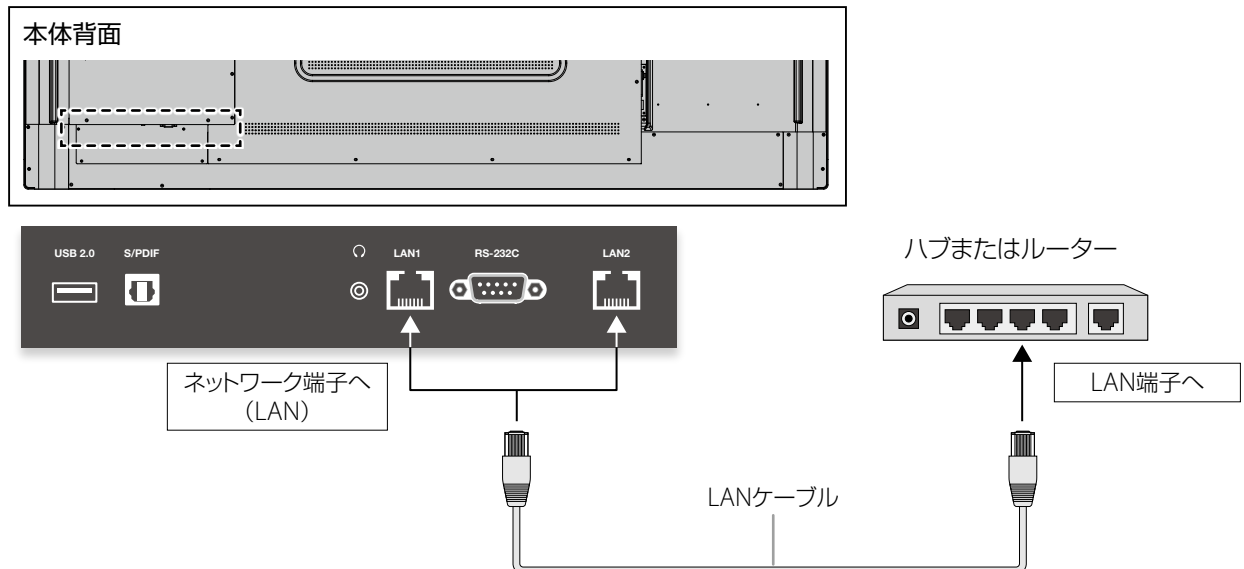
本機のシリアル端子とPCを接続すると、PCから本機の一部の機能（電源オン/オフ、音量調節など）を制御することができます。



ネットワーク接続する

LANケーブルの接続

本機背面のネットワーク端子とハブまたはルーターのLAN端子をLANケーブル（別売り）で接続します。
ネットワーク設定は「システム設定」の「ネットワーク設定」で設定します。
ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。



電源を接続する

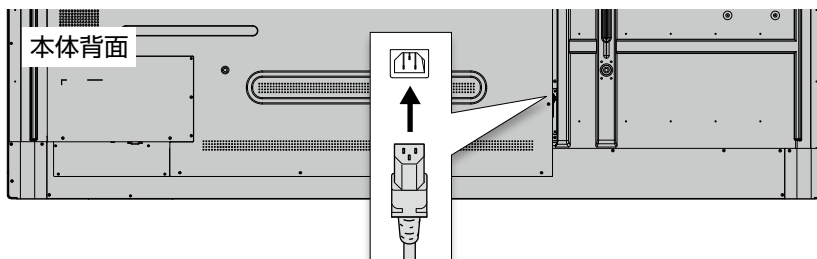


注意

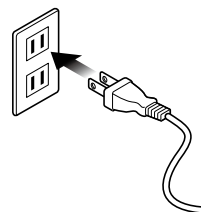
- 電源コードは必ず本機付属のものをご使用ください。
- アースは必ず接続してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなってください。
また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

1. 付属の電源コードを電源端子に差し込みます。

※ 必要に応じて電源端子の抜け防止対策をしてください。



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



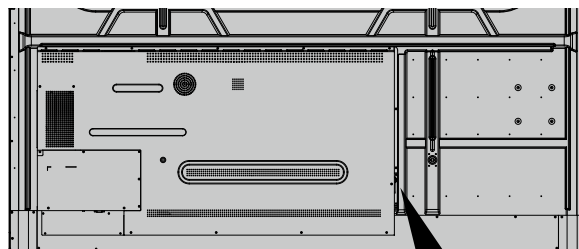
電源の入／切

電源を入れる

- ① 本体背面の主電源スイッチを (|) 側にします。
- ② リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押します。

電源を切る

- ① リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押してシャットダウンします。
- ② 本体背面の主電源スイッチを (○) 側にします。



注意

- 本体をシャットダウンする前に本体背面の主電源スイッチをオフにしないでください。

スタンバイモード

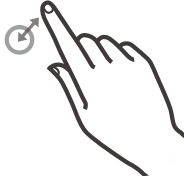
リモコンの「画面消灯」を押すか、サイドメニューのツールから「スクリーンオフ」を選択することで、画面が消えスタンバイモードになります。

タッチ操作

本機では、指や付属のペンでタッチ操作ができます。

おもなタッチ操作

タップ (シングルタップ)

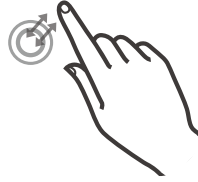


一度短くタッチします。

主な役割

- ・ 項目やアイコンを選択
- ・ Android OSでアプリを起動
- ・ OPSでマウスの左クリックの動作

ダブルタップ

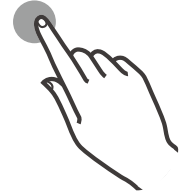


同じ場所をすばやく2回タッチします。

主な役割

- ・ OPSでマウスのダブルクリックの動作 (ファイルを開くなど)

長押し

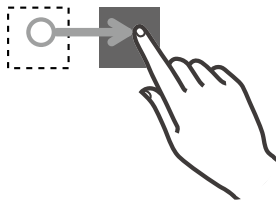


タッチしたまましばらく指を画面に触れたままにします。

主な役割

- ・ OPSで右クリックの動作

ドラッグアンドドロップ

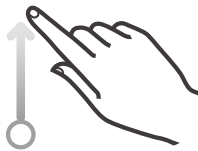


アイコンやスライドをタッチしたまま画面から指を離さずに移動して、指定の地点で指を離します。

主な役割

- ・ アイコンの移動
- ・ スライドを動かす

スワイプ／フリック



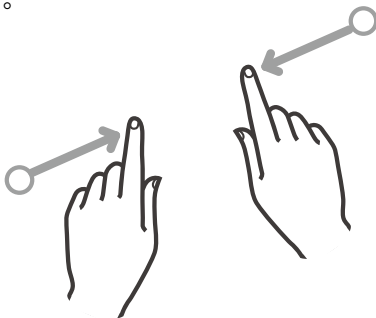
画面にタッチしたまま指を移動します (スワイプ)。指をすばやく払うようにすると、フリックになります。

主な役割

- ・ ページをスクロール
- ・ 画面下中央部からスワイプ／フリックして入力ソース切り替え画面を表示

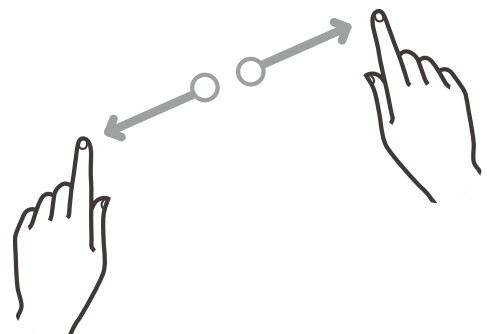
ズームイン

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を狭めます。



ズームアウト

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を広げます。



注意!

画面をタッチするときは、必ず指先か付属のタッチペンをお使いください。




ツメやボールペンなど先の尖ったものや固いものでタッチすると、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。





基本的な操作方法

ホーム画面

電源をオンにすると、最初に本機内蔵Androidのホーム画面が表示されます。



	ホワイトボードのような使い方ができます。 → 27 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」
	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを開覧することができます。 → 32 ページ「ファイルを参照する (ファイル)」
	インターネットブラウザを起動して、Webページを閲覧します。 → 33 ページ「ウェブページを見る (Chrome)」

	有線LANが接続されている。		無線LANが接続している。
	有線LANが接続されていない。		無線LANが有効になっているが、ネットワークに接続していない。

クイックソース切り替え

表示する画面を切り換えることができます。

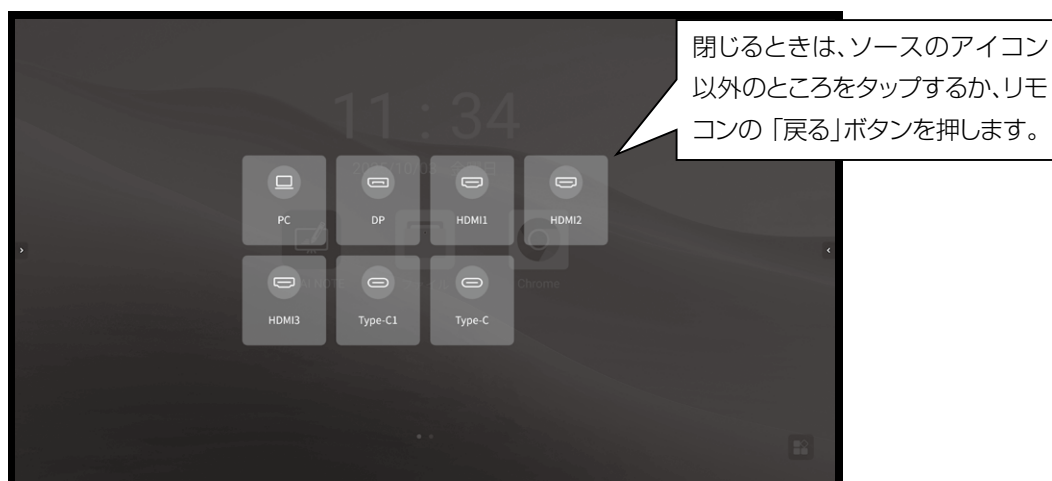
表示方法

クイックソース切り替え画面の表示方法は以下の2通りあります。

ホーム画面を下からスワイプする。



リモコンの入力切替ボタンを押す。

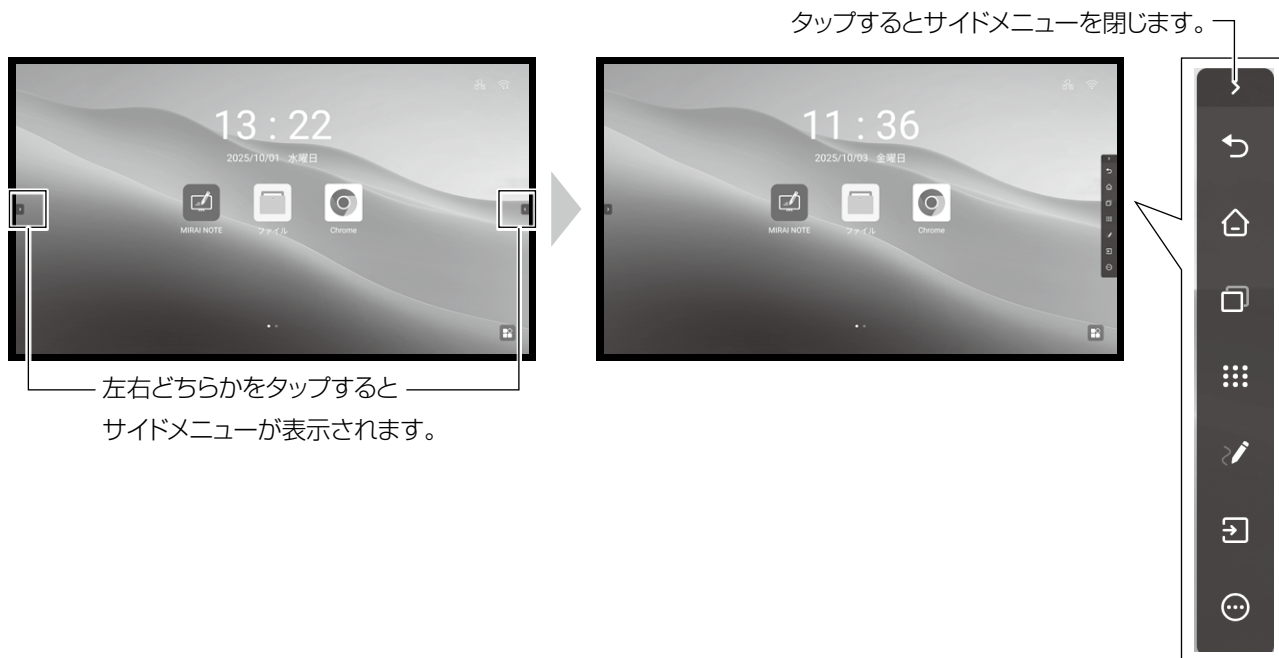





基本的な操作方法 (続き)

サイドメニューを表示する

表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャーを撮ることができます。

画面の右側または左側にサイドメニューを表示することによって、各種アプリケーションをすばやく起動することができます。














	1つ前の画面に戻ります。		アプリのショートカットを表示します。	
	ホーム画面を表示します。		ペンモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。	
	表示するアプリを切り替えます。		映像入力している画面に切り替えることができます。	
	各ツールを使用することができます。			
		EShareが表示されます。		画面が消え、スタンバイモードになります。電源ボタンを押すと、画面が再度表示されます。
		ストップウォッチとタイマー機能を使うことができます。		カーテンのように画面の一部を覆い隠すことができます。カーテンは、端をドラッグすることで大きさを変えることができます。
		キャプチャーを撮ることができます。撮影された画像は、本機の「/Pictures/ScreenShots/[日付]」フォルダに保存されます。		スポットライトのように画面の一部のみを見せることができます。スポットライトは、画面をピンチイン/ピンチアウトすることで範囲を変えることができます。
		キャプチャーを撮ることができます。撮影された画像は、本機の「/ScreenShots/[日付]」フォルダに保存されます。		表示されるアプリがウィンドウモードで起動します。
		画面の一部を拡大表示します。		画面を録画します。
		ブルーライトカットを設定します。		画面を拡大/縮小表示します。
		設定した環境からランダムに数値を選択します。		

コントロールパネルを表示する

画面の右下または左下からスワイプすると、ツールのショートカットが表示されます。



右下または左下からスワイプすると
コントロールパネルが表示されます。

	ストップウォッチとタイマー機能を使うことができます。		設定した環境からランダムに数値を選択します。
	キャプチャーを撮ることができます。 撮影された画像は、本機の「/ScreenShots/[日付]」フォルダに保存されます。		画面を録画します。
	画面の一部を拡大表示します。		画面が消え、スタンバイモードになります。 電源ボタンを押すと、画面が再度表示されます。
	入力切替メニューを表示します。		カーテンのように画面の一部を覆い隠すことができます。 カーテンは、端をドラッグすることで大きさを変えることができます。
	ブルーライトカットを設定します。		スポットライトのように画面の一部のみを見せることができます。 スポットライトは、画面をピンチイン/ピンチアウトすることで範囲を変えることができます。
	画面を拡大／縮小表示します。		

基本的な操作方法 (続き)

アプリ一覧画面を開く

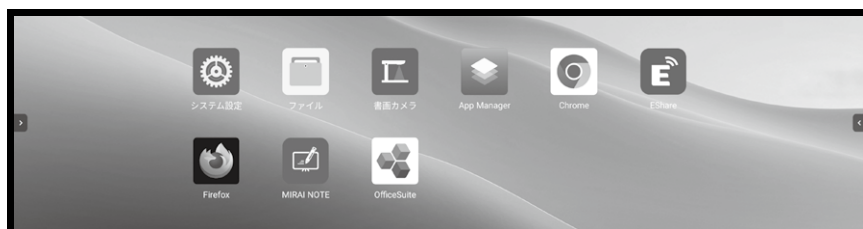
ホーム画面を右にスワイプするか、右下のアイコンをタップすることで、アプリ一覧画面が表示されます。

ホーム画面を右にスワイプする。



または

ホーム画面右下にあるアイコンをタップする。



アプリの説明

	システム設定画面を表示します。 →37 ページ「詳細設定」		インターネットブラウザを起動して、Webページを閲覧します。 →33 ページ「ウェブページを見る (Chrome)」
	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。 →32 ページ「ファイルを参照する (ファイル)」		画面共有アプリの設定を行います。
	内蔵カメラまたは本機に接続しているUSBカメラの映像を表示します。 →34 ページ「カメラを使う (カメラ)」		ホワイトボードのような使い方ができます。 →27 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」
	アプリの管理画面が表示されます。		Microsoft Officeファイルやpdfファイルを開くことができます。

※ 上記、未記載のアプリケーションについては、各アプリケーション事業者が提供する取扱説明書もしくはWebサイトをご確認ください。

ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)

画面上をなぞることで、ホワイトボードと同じように線を描けます。

10点まで同時にタッチを感知できます。

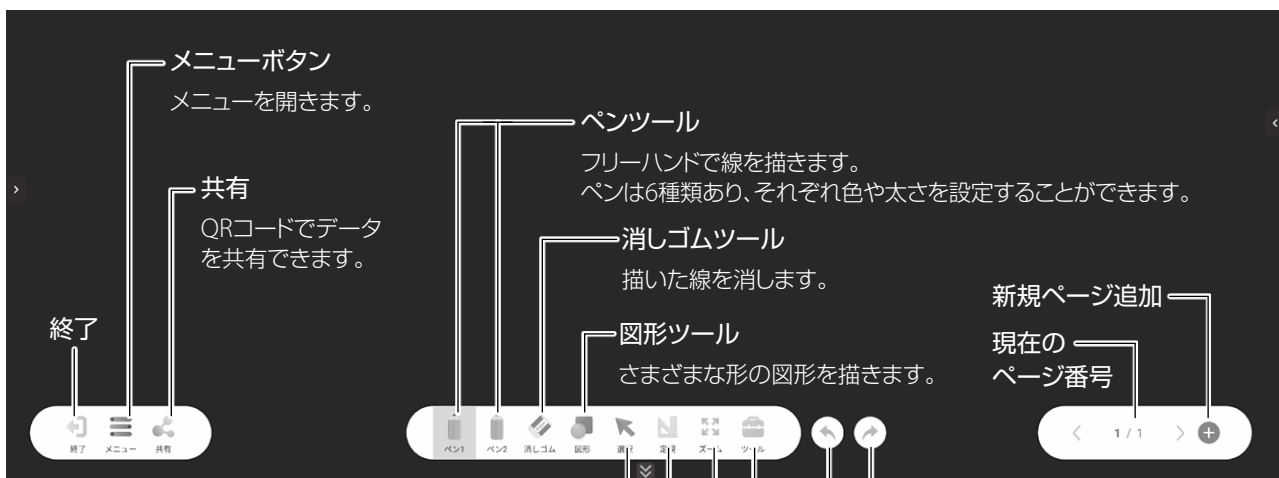
描いた画は保存することができます。

起動方法

ホーム画面から「MIRAI NOTE」アプリをタップします。



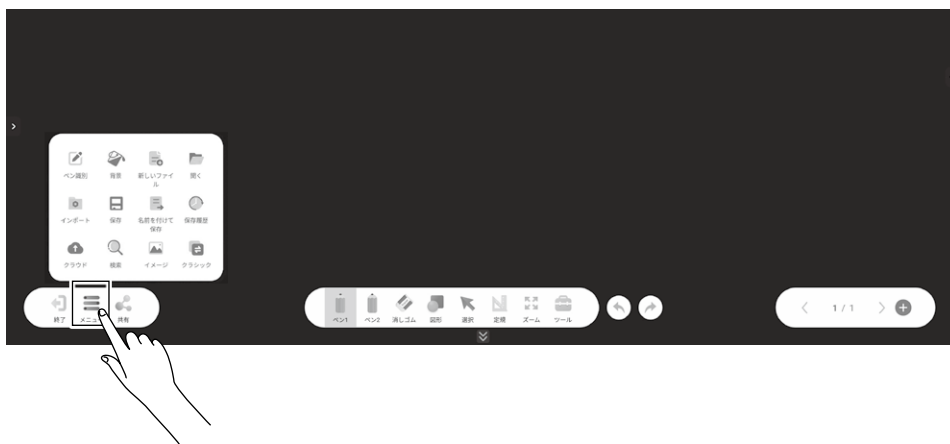
画面説明



ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE) (続き)

メニューについて

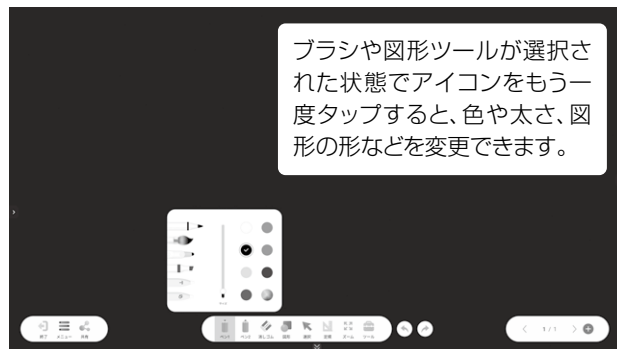
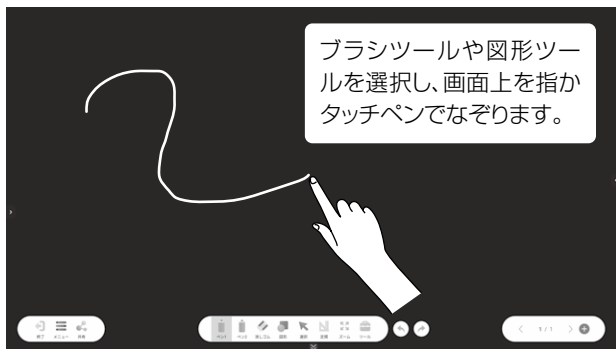
メニューボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。



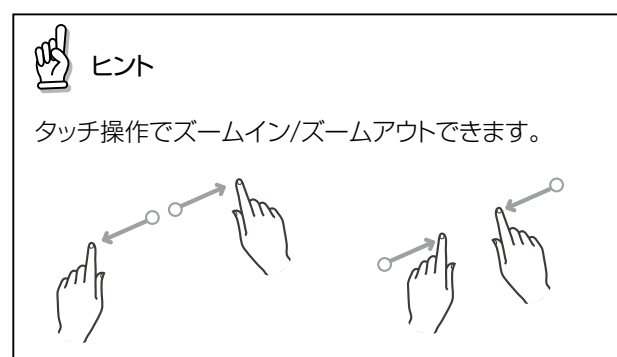
 ペン識別	ペンをを使用するときの設定をします。
 背景	背景を変更します。
 新しいファイ	新規にホワイトボードを作成します。
 開く	作成したファイルを開きます。
 インポート	ファイルを読み込んで、ボードに貼り付けます。
 保存	作成したファイルを保存します。
 名前を付けて	作成したファイルを他の形式で保存します。
 保存履歴	保存履歴を表示します。
 クラウド	クラウドのファイルを参照します。
 検索	検索画面が表示されて、インターネット検索ができます。
 イメージ	画像ファイルを読み込んで、ボードに貼り付けます。
 クラシック	モードを変更します。

描く、消す

線や図形を描く



線を消す



選択モード



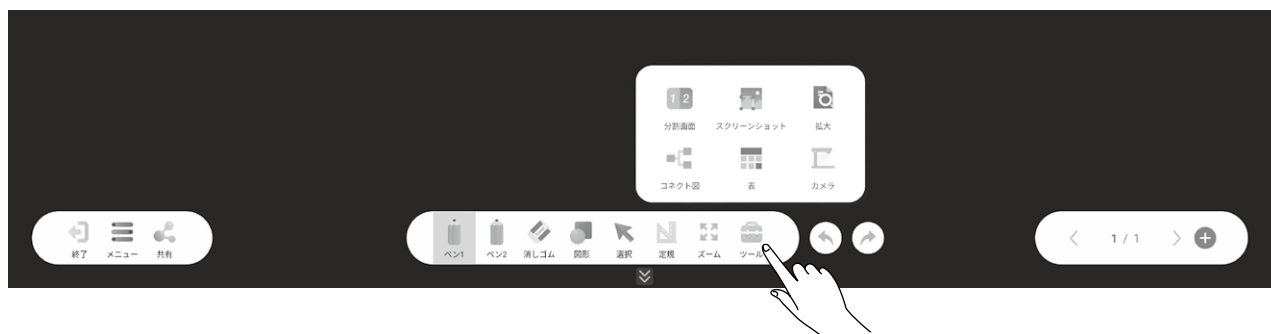
消しゴムモード









ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE) (続き)

ツールボックス

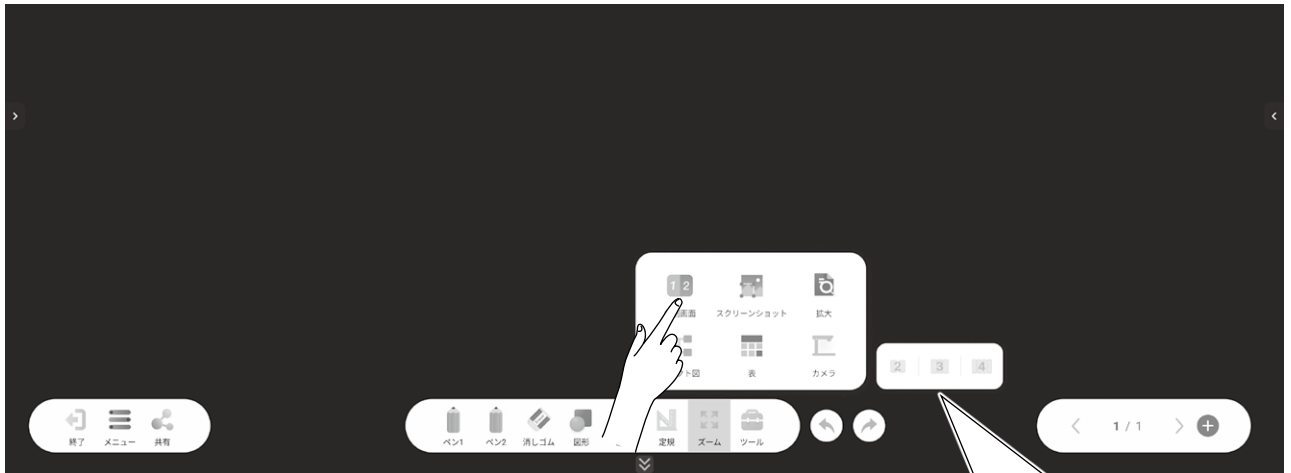
「ツール」をタップすると、ツールボックスが表示され、以下のツールを使用することができます。



 分割画面	画面を分割し、2～4人同時に書き込みをすることができます。
 スクリーンショット	スクリーンキャプチャーを撮ります。
 拡大	画面を拡大／縮小します。
 コネクト図	キーワードを線でつなぎ、マップ上に配置することができます。
 表	表を作成できます。
 カメラ	内蔵カメラまたは本機に接続しているUSBカメラの映像に切り替えます。

2人/3人/4人同時書き込みモード

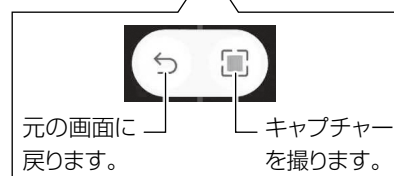
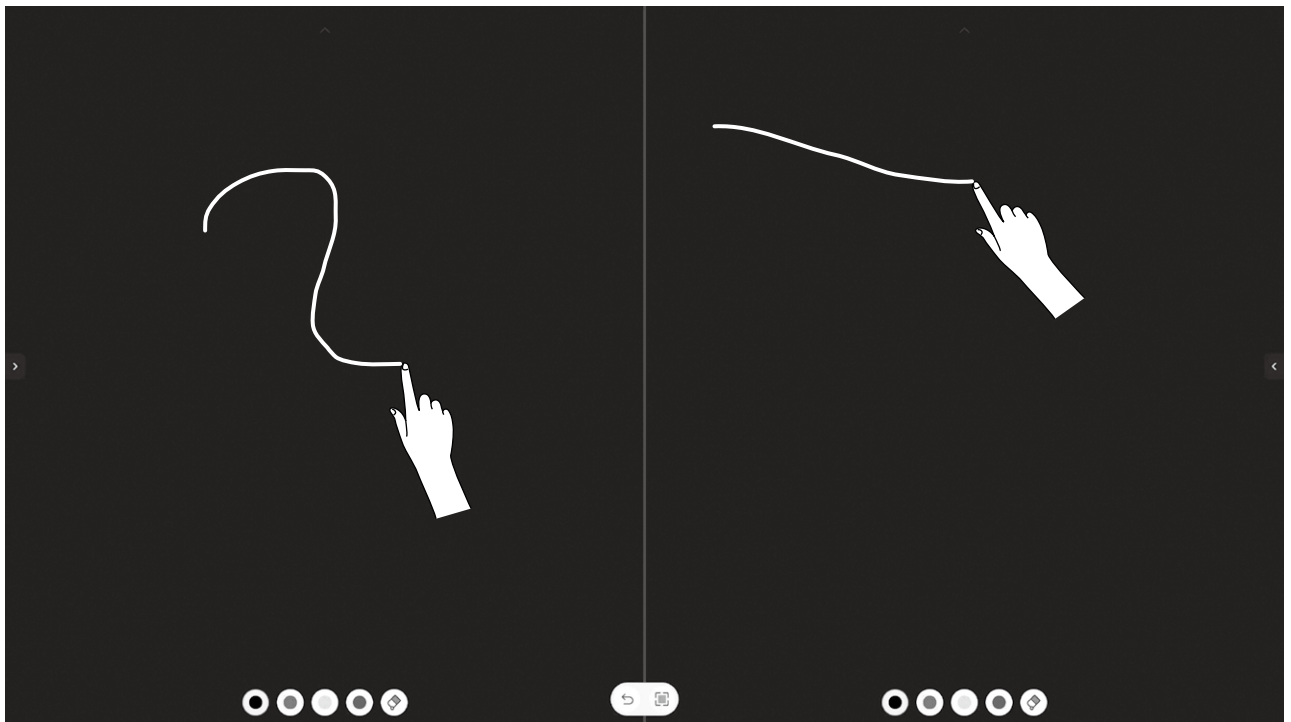
2人/3人/4人同時書き込みモードにすると、2～4人が同時に書き込んだり、線を削除することができます。



ツールボックスの「分割画面」をタップしてから「2人分割画面」「3人分割画面」「4人分割画面」のどれかを選択します。



同時書き込みモードに切り替わります。



ファイルを参照する（ファイル）

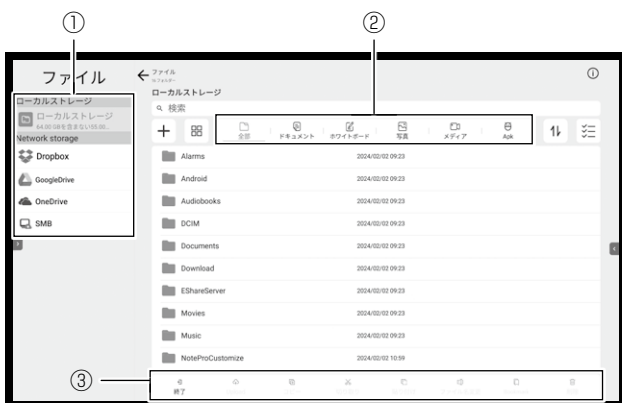
本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN上のファイルを閲覧することができます。

起動方法

ホーム画面から「ファイル」アプリをタップします。



操作方法



①	①	ファイルを参照する場所を選択します。
	ローカルストレージ	本機内にあるファイルを表示します。
	Network storage	Dropbox・GoogleDrive・OneDrive・SMBが利用できます。
②	②	表示するファイルの種類を選択します。

③		ファイルを終了します。
		ファイルをアップロードします。
		ファイルをコピーします。
		ファイルを切り取ります。
		ファイルを貼り付けます。
		ファイル名を変更します。
		フォルダをブックマークとして表示できます。
		ファイルを削除します。

ウェブページを見る (Chrome)

ウェブページを見るためにはインターネットに接続する必要があります。

起動方法

ホーム画面から「Chrome」アプリをタップします。



操作方法



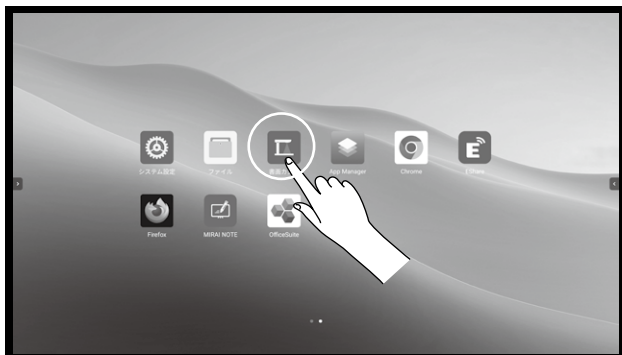
ホーム画面に戻るときは、リモコンかサイドメニューのホームボタンを押してください。

カメラを使う（カメラ）

本機の内部カメラまたはUSBカメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。

起動方法





アプリ一覧画面から「書画カメラ」アプリをタップします。




操作方法



①		カメラを終了します。		
②		解像度を設定します。		
③		使用するカメラを選択します。		
④		リフレッシュレートを設定します。		
⑤	ペイントツールを開きます。			
		選択します。		画面のキャプチャーを撮ることができます。保存画像は、本機の「/Pictures/ScreenShots/[日付]」フォルダに保存されます。
		ペンモードで線を描きます。選択した状態で再度タップすると、スタイルや色を変えることができます。		静止状態に変更します。
		指示ペンで線を描きます。		MIRAI NOTEに貼り付けます。
		描いた線をすべて消去します。		ペイントモードを終了します。
⑥		スクリーンキャプチャーを撮ります。		

⑦		動画を撮ります。						
⑧		画面設定を開きます。						
		<table border="1"> <tr> <td>サイズ</td> <td>フルスクリーンとオートズームを切り換えます。</td> </tr> <tr> <td>スケーリング</td> <td>画面を拡大／縮小します。</td> </tr> <tr> <td>ローテーション</td> <td>画面を右または左に90°回転、および左右上下を反転させることができます。</td> </tr> </table>	サイズ	フルスクリーンとオートズームを切り換えます。	スケーリング	画面を拡大／縮小します。	ローテーション	画面を右または左に90°回転、および左右上下を反転させることができます。
		サイズ	フルスクリーンとオートズームを切り換えます。					
スケーリング	画面を拡大／縮小します。							
ローテーション	画面を右または左に90°回転、および左右上下を反転させることができます。							
⑨		QRコードを読み込みます。						
⑩		比較モード画面を開きます。						

比較モード画面

 をタップすると、比較モード画面になり、カメラの映像と画像を並べて表示することができます。



ホワイトボードに貼り付けることができます。

比較する写真を選択します。

2画面表示

4画面表示

比較モードを閉じます。

画面を切り換える

本機に映像入力している機器の画面の切り換えをおこないます。

起動方法

ホーム画面を下からスワイプする。

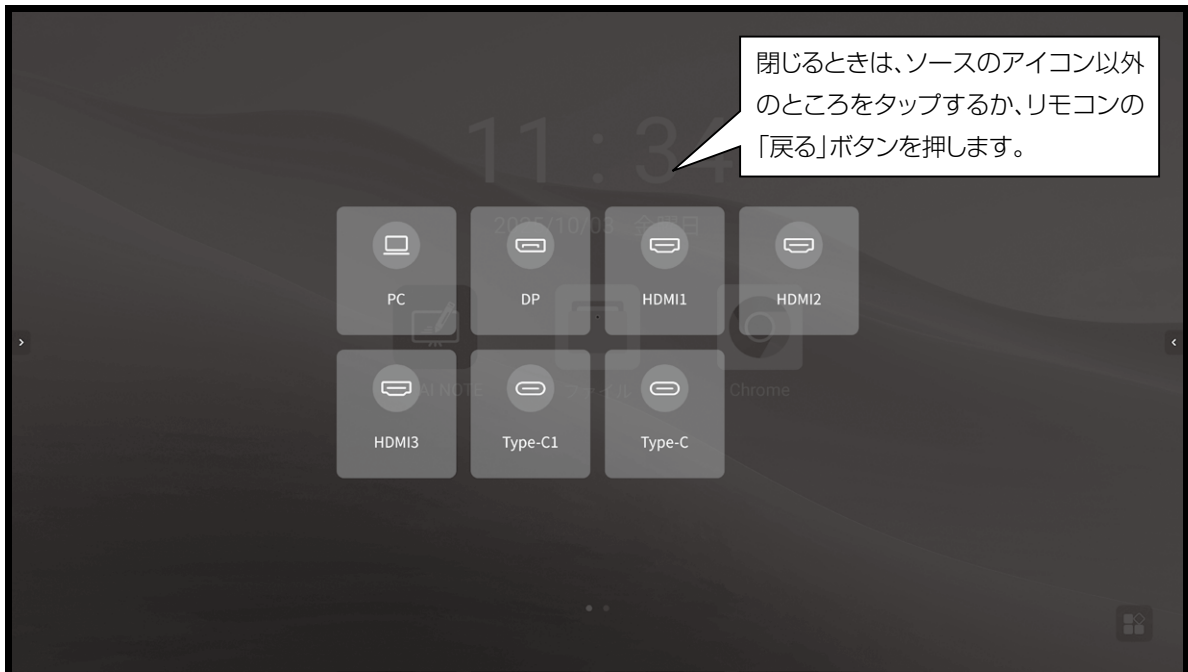


リモコンの入力切替ボタンを押す。

または



画面に表示する入力ソースを選択します。



詳細設定

起動方法

アプリ一覧画面から「システム設定」アプリをタップします。



「システム設定」画面が表示されます。



詳細設定 (続き)

ネットワーク設定

イーサネット

有線LANの設定をします。



MACアドレス	使用している機器のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
プロキシ	プロキシサーバを設定します。
VPN	VPNの設定をします。
イーサネット	有線LANを使用する場合は、オンにします。

無線LAN

無線LANの設定をします。



MACアドレス	使用している機器のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	使用している機器のIPアドレスが表示されます。
無線LAN	Wi-Fi接続のオン/オフを切り換えます。
スキャン	接続できるネットワークをスキャンします。
ネットワークを追加	手動でネットワークを追加します。

ホットスポット

ホットスポットの設定をします。



ホットスポット	オンにすると、本製品をアクセスポイントとして、他の端末から無線接続使用することができます。
ホットスポットの設定	ホットスポット名やパスワードを設定します。
自動でホットスポットをオフにする	オンにすると、10分間デバイスが接続されなかった際にホットスポットが自動的にオフになります。

Bluetooth

Bluetoothの設定をします。



Bluetooth名	Bluetooth名が表示されます。
MACアドレス	使用している機器のMACアドレスが表示されます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン/オフを切り替えます。
Bluetooth受信機の有効化	Bluetooth接続機器からの音声を電子黒板のスピーカーから出力します。
デバイスのスキャン	接続できるBluetooth機器をスキャンします。

詳細設定 (続き)

本体設定

映像設定

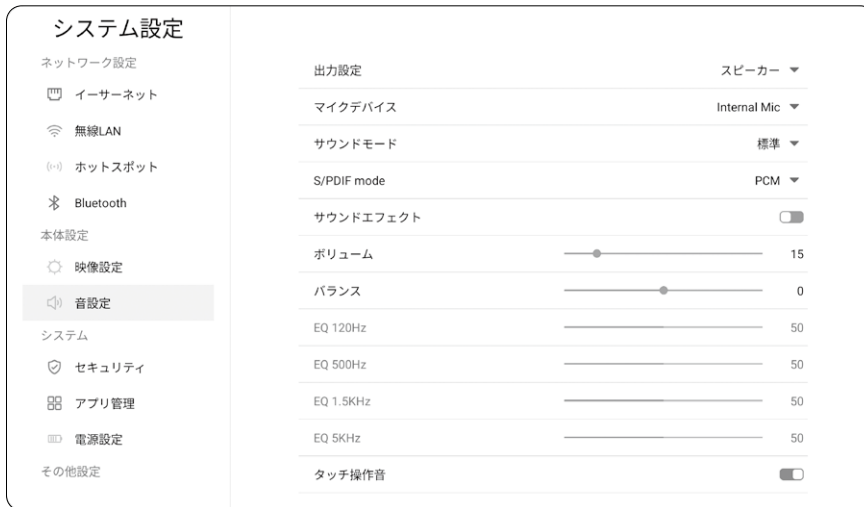
映像およびディスプレイの設定をします。



画質	標準	工場出荷時の設定です。	ソフト	ソフトな画質にします。
	ダイナミック	コントラストを強調した画質にします。	ユーザー	ユーザーのお好みの設定ができます。
省電力モード	オフ	省電力モードをオフにします。		
	自動	使用環境によって画面の明るさを自動的に調整します。		
	バランス	使用環境によってバックライトを80%で点灯します。		
	エコモード	使用環境によってバックライトを35%で点灯します。		
	DCR	表示画面の色によって、バックライトの明るさを自動的に調整します。		
色温度	標準	工場出荷時の設定です。		
	クール	青色を強調して表示します。		
	ウォーム	赤を強調して表示します。		
アイプロテクト	オンにすると、使用中の目の負担を軽減するアイプロテクトモードで動作します。			
ブルーライトカット	オンにすると、ブルーライトカットモードで動作します。			
バックライト	画面の明るさを設定します。			
高度な設定	画質を調整します。			
		コントラスト/明るさ/彩度/Hue	「画質」で「ユーザー」を選択すると設定できます。	
	色補正	色表現を変更します。		
	補正モード	色補正のモードを変更します。		
	色反転	色を反転します。		
	高コントラストテキスト	文字表示を変更します。		
カメラデバイス	内蔵カメラまたは本製品に接続しているカメラを選択して使用します。			

音設定

音声の設定をします。



出力設定	スピーカー	工場出荷時の設定です。本体内部スピーカーから出力します。
	S/PDIF	光デジタルオーディオを使うときに設定します。
	Bluetooth	Bluetooth接続している機器から音声出力します。
	S/PDIF & スピーカー	光デジタルオーディオと本体内部のスピーカーから出力します。
	Headphones	接続したヘッドフォンから出力します。
マイクデバイス	内蔵マイクまたは本製品に接続しているマイクを選択して使用します。	
サウンドモード	標準	工場出荷時の設定です。
	音楽	音楽ソースを再生するときに最適なモードです。
	映画	映画鑑賞をするときに最適なモードです。
	ユーザー	ユーザーのお好みによって各項目の設定ができます。
S/PDIF mode	PCM	リニアPCM設定にします。
	RAW	スルー設定にします。
サウンドエフェクト	サウンドを設定します。	
ボリューム	再生音量を調整します。	
バランス	左右の音声バランスを調整します。	
EQ 120Hz～10KHz	各周波数帯の再生を調整します。	
タッチ操作音	オンにすると、タップ時に操作音が鳴るようになります。	

詳細設定 (続き)

システム

セキュリティ

選択すると、パスワード認証画面が表示されます。

「115133」とパスワードを入力すると、セキュリティの項目が表示されます。



パスワード変更	システムパスワードを変更します。	
使わないアプリの登録	アプリケーションのロックができます。	
アプリの非表示登録	使用しないアプリを非表示に設定できます。	
暗号化と認証情報	デジタル証明書をインストールしたり、認証情報を消去できます。	
アプリのインストールのロック	オンにすると、アプリを新たにインストールできなくなります。	
タッチのロック	オンにすると、タッチ操作にロックがかかります。	
キーボードのロック	オンにすると、前面ボタン操作にロックがかかります。	
赤外線のロック	オンにすると、リモコン操作にロックがかかります。	
ネットワークのロック	オンにすると、ネットワークの項目にロックがかかります。	
クラウドドライブの有効化	オンにすると、ファイルアプリのNetwork Storageが表示されます。	
デフォルトのUSB設定	なし	モード1(ストレージ共有)とモード2(ネットワーク共有)を行いません。
	モード1(ストレージ共有)	電子黒板のストレージがOPS側からアクセスできます。
	モード2(ネットワーク共有)	電子黒板のネットワーク(有線または無線)をOPS側へブリッジします。
USBスイッチのロック	オンにすると、USBメモリへのアクセスを無効にします。	
エクスポートログ	USBメモリを接続した状態でシステムのログを取得します。	
スクリーンロック	OFF	画面にロックはかかりません。
	Pin code	4桁のPin codeの画面ロックを設定します。 ※ 設定値は忘れないようにしてください。
	USB Key Lock	設定した場合、解除ファイル(USB)がないと電子黒板が利用できなくなります。 解除ファイル(USB)につきましては弊社営業までお問い合わせください。

外部チャンネルデバイス	オンにすると、Androidでのみ内蔵マイクを使用できます。 オフにすると、外部チャンネルで内蔵マイクを使用できます。 ※ オフにすると外部チャンネルによっては画面タッチの操作、USBポートが使用できなくなる場合があります。
内蔵Wi-Fiの有効化	オフにすると、内蔵Wi-Fiを使用できなくなります。 (設定変更時は本製品の再起動が必要になります)
Androidチャンネルを有効	オフにすると、Androidチャンネルが使用できなくなります。 (設定変更時は本製品のリモコンが必要になります)

アプリ管理

本製品にインストールされているアプリの設定をします。



インストール済みアプリ	インストールしたアプリが表示されます。
すべてのアプリ	本製品にインストールされているアプリが表示されます。
HOMEのアプリ選択	ホーム画面に表示するアプリを選択できます。

詳細設定 (続き)

電源設定



電源タイマー	設定した時間に電源がオンおよびオフになります。
電源オン設定	電源がオンになったときの本製品の入力ソースや音量を設定できます。
Wake on Lan	LAN経由でモニターの電源制御ができます。
スリープタイマー	本製品がスリープ状態になるまでの時間を設定できます。
No-signal power off	外部入力画面で信号がない状態で、設定した時間経過すると、自動的にスリープ状態になります。
スクリーンセーバー	設定した時間内に画面操作を行わない場合、スクリーンセーバーが表示されます。

その他設定

その他



自動入力切替	オフ	HDMIでパソコンなどを接続する際に、自動的に画面を切り替えないようにします。
	プロンプト	HDMIでパソコンなどを接続する際に、ヒントメニューが提示されます。
	ダイレクト	HDMIでパソコンなどを接続する際に、自動的に画面を切り替えるようにします。
温度保護	保護温度を超えると画面警告が表示されます。 通常起動温度範囲は30～50℃、温度保護は80℃(50～100℃の間に変更可能)です。	
現在の内部温度	本製品の内部温度が表示されます。	
温度警告	「温度保護」をオンに設定したときに、警告を発する保護温度を設定します。	
HDMI	HDMI out	1080p 30Hz フルHD解像度、フレームレート30Hzで出力します。
		2160p 30Hz 4K解像度、フレームレート30Hzで出力します。
		2160p 60Hz 4K解像度、フレームレート60Hzで出力します。
時計、24時間	日付と時刻の自動取得	オンにすると、ネットワークから自動的に時刻を取得し、時計を合わせます。
	日付	「日付と時刻の自動取得」をオフに設定している場合に、手動で日付と時刻を設定します。
	時刻	
	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示	オンにすると、時刻が24時間表記になります。
	Data format	表示する時刻の形式を変更します。
	NTP設定	任意のNTPサーバーに設定できます。
言語	表示言語を選択します(日本語/英語)。	
キーボードと入力	使用するキーボードを選択したり、設定をします。	
個別設定	壁紙の設定	ホーム画面などで使用している壁紙を変更することができます。
	無信号時の壁紙設定	外部入力画面の壁紙を変更することができます。
	入力ソース名の設定	入力ソース切替画面などに表示される入力ソースの名称を設定することができます。
	カメラの設定	ジェスチャー認識や表示形式の設定を行います。
	ホームボタン1回選択	ホームボタンを1回押したときの動作の設定を行います。
	ホームボタン2回選択	ホームボタンを2回押したときに起動するアプリを選択します。
	サイドメニュー	サイドメニューを非表示にすることができます。
	Clear browser cash	ブラウザのキャッシュを削除します。
	コメントモード	サイドメニューのペイントツール選択時の動作を変更できます。

詳細設定 (続き)

端末管理

ソフトウェア情報を表示します。

システム設定

- ホットスポット
- Bluetooth
- 本体設定
 - 映像設定
 - 音設定
- システム
 - セキュリティ
 - アプリ管理
 - 電源設定
- その他設定
 - その他
 - 端末管理

端末名	PE4S
32文字以内	
モデル名	PE4S_Series
データベースコピー	
システム情報	
システムアップデート	
リセット	
法的情報	

システム情報

システムバージョンを確認できます。
※ お問い合わせ時に必要な情報です。

故障かなと思ったら

正常に動作しない	
症状	対策
リモコンがうまく動作しない	リモコンとリモコン受信部の間に障害物がないか確認する。
	リモコン受信部に向けてリモコンを操作する。
	リモコンの電池が+ -正しい向きで入っているかどうか確認する。
	電池を交換する。
本機が自動的にシャットダウンする	PCユニット搭載モデルの場合は、本機内蔵のOPSがスリープ状態になっていないか確認する。
	停電になっていないか確認する。
	自動シャットダウンの制御信号が送られていないか確認する。

映像入力した機器の画面がうまく表示されない	
症状	対策
画面に「信号無し」と表示される	ケーブルが正しく接続されているか確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
背景に縦線や筋が出る	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	本機の周囲に他の電子機器や電気製品があるかどうか確認する。 → 他の機器から電波の影響を受けることがあります。他機器から離したり、位置を変えてみてください。
画像に色が無い、または色が正しくない	詳細設定の「映像設定」で「コントラスト」、「明るさ」などを調整する。
その他映像が乱れる	適切なディスプレイケーブルであることを確認する。

音が出ない	
症状	対策
画像も音声も出ない	本機の電源がオン () になっているか、あるいはスタンバイモードになっていないかを確認する。
	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
	PCモードの場合は、本機内蔵OPSまたは接続しているPCが起動しているか確認する。
映像は出るが音が出ない	リモコンの消音ボタンを押して、ミュートになっていないか確認する。
	リモコンあるいは本機フロントパネルの音量調節ボタンで音量を調節する。
	音声ケーブルが正しく接続されているかどうか確認する。
片方のスピーカーからしか音が出ない	音声ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	詳細設定の「音設定」で音声バランスを調整する。
	PCモードの場合は、PCのサウンド設定を確認する。

故障かなと思ったら (続き)

タッチ操作がうまくできない	
症状	対策
タッチが認識されない・ 正常に認識されない	タッチ機能が無効になっていないか確認する。 →設定の「セキュリティ」で「タッチのロック」が有効になっていないか確認する。
	タッチした部分のサイズが指のサイズに比べ小さすぎないか確認する。
	タッチペンのペン先に異常がないか確認する。
	接続しているPCのタッチ操作が認識されない場合 ・本機のタッチ端子とPC側のUSB端子が付属のUSBケーブルで接続されているか確認する。 ・タッチドライバが正常にインストールされ、ソフトウェアが起動していることを確認する。
	画面内に直射日光が当たっていないか確認する。 →本機は赤外線でタッチ位置を検出しているため直射日光が動作に影響をおよぼす場合があります。

お手入れ方法

長くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。

クリーニングおよびメンテナンスの前には、感電防止のため電源プラグを抜いておいてください。

注意！

- お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと、液晶ディスプレイの表面に傷がつくおそれがあります。

液晶ディスプレイやキャビネットのお手入れ
乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。



長期間使用しない場合

本機を長時間使用しない場合は、必ずプラグを抜いてください。

仕様

モデル名	M65PE4S	M75PE4S	M86PE4S	
電源入力	AC 100V 50/60Hz			
消費電力	通常	270W	310W	370W
	スタンバイ時	0.5W未満	0.5W未満	0.5W未満
使用環境条件	温度	0℃～ 40℃		
	湿度	10%～ 90% (結露がないこと)		
音声出力	本体前面 (左/右 : 15W+15W)			
VESA規格	600×400 (mm)	800×600 (mm)	800×600 (mm)	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	1490×915×84(mm)	1715×1046×84(mm)	1960×1180×84(mm)	
	梱包時:1615×1000×230(mm)	梱包時:1839×1127×230(mm)	梱包時:2084×1264×230(mm)	
質量	約38kg	約48kg	約59kg	
	梱包時:約47kg	梱包時:約59kg	梱包時:約73kg	
ディスプレイ				
サイズ	65型	75型	86型	
画面寸法 (幅×高さ)	1429 × 804 (mm)	1650 × 928 (mm)	1895 × 1066 (mm)	
画素数 (水平×垂直)	3840 × 2160			
輝度	520 cd/m ²			
コントラスト比	5000 : 1	4000 : 1		
表示色	約10.7億色			
視野角	左右178度 / 上下178度			
タッチシステム	マルチタッチ	最大50点マルチタッチ (赤外線遮断検出方式)		
	接続端子	USB 2.0 Full Speed		
	保護ガラス	約3.2mm厚強化ガラス		
機能				
Wireless	IEEE802.11b/g/n/a/ac/ax			
Bluetooth	Bluetooth 5.2 (Please use the remote controller from the location where the product is visible.)			
カメラ	上部 : 4K対応			
マイク	8Array マイク			
本体端子				
入力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×3		
	DP	DisplayPort×1		
出力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×1		
	AUDIO	3.5φステレオミニジャック×1、デジタル出力端子 (S/PDIF)×1		
USB端子 (入力)	USB 2.0	USB Aタイプ×1		
	USB 3.0	USB Aタイプ×4		
	TYPE-C	USB Cタイプ×2 (PD : Front 15W / Side 100W)		
	TOUCH	USB Bタイプ×3		
USB端子 (出力)	TYPE-C	USB Cタイプ×1		
シリアル端子	RS232	D-SUB9ピン (RS232)×1		
LAN端子	LAN	RJ45×2 (1000Base-T)		

※ 本仕様は2026年2月1日現在のものです。仕様は予告なく変更する場合がございます。

MEMO

アフターサービス

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼される時

本書の「故障かなと思ったら」をお読みいただき、それでも直らないときは、電源コードをコンセントから抜いて、ご購入の販売店または弊社相談窓口にご連絡ください。

大変危険ですので、ご自分で修理はしないでください。

保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理可能な製品については、ご要望により有料にて修理致します。

ご購入の販売店または弊社相談窓口にご相談ください。

修理ご依頼のときは、製品名、ご氏名、ご住所、電話番号、ご購入日、故障の内容（具体的に）をご連絡ください。

修理料金について


修理料金は、[技術料]+[部品代]+[出張料]+[輸送料]で構成されています。

商標について

- さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国および他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Android OSは、Google LLCの商標です。
- DisplayPort はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Dr.WEBはDr.web Ltd.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

 **0120-261-271** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (月~金)

祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

さつき株式会社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号

©SATSUKI CO., LTD.

Ver.1